

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	水道事業経営管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040102
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	今井明	連絡先	653

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり											
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実											
				細施策	01	上水道の安定供給											
				事務事業	01	供給安定性の向上事業											
	予算事業名						会計コード	021	款	01	項	01	目	04	事業	—	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	水道事業の財政計画、財源確保、経理など、水道事業を運営するために必要となる経営管理事務です。															
	現状と背景 （どうして）	水道事業を運営するにあたっては、財政計画、財源確保、経理などの経営管理が必要となります。															
	目的	対象	受益者 （誰のために）	水道使用者													
			対象 （直接働きかける）	水道事業													
		意図 （どんな状態にしたいか）	健全な事業運営を行います。														
	手段・方法 （どうやって）	水道事業の財政計画、建設財源の確保、経理など水道事業の経営管理を行います。 (1) 財政計画の策定（投資計画、維持管理計画、使用料設定 他） (2) 予算・決算の作成 (3) 使用料の設定・改定 (4) 建設改良積立金の管理・起債借入等による建設財源の確保 (5) 経理事務															
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		財政計画の策定	経常収支	千円	経常収支の値（長期前受金を除く）			250,000									
	財政計画の策定	累積資金過不足額	億円	累積資金過不足額（平成18年度末の額を維持）			21										
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
	決算	料金回収率	%	供給単価/給水原価			125										

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	279,200,907	183,677,613	152,507,127	177,293,280	194,962,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	255,687,336	167,162,053	136,858,254	161,093,280	186,718,000	
	一般財源	円	23,513,571	16,515,560	15,648,873	16,200,000	8,244,000	
	職員数							
	正規職員	人	1.50	1.50	1.75	1.50		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	1.50	1.50	1.75	1.50			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	4,973.00	3,281.00	2,724.00	3,167.00	3,483.00		
活動指標	経常収支	目標	千円	300,000	250,000	250,000	250,000	250,000
		実績	千円	224,025	122,315	238,545	210,107	58,220
	達成率	%	74.68	48.93	95.42	84.04	23.29	
	累積資金過不足額	目標	億円	21	21	21	21	21
		実績	億円	29	27	26	27	26
	達成率	%	138.10	128.57	123.81	128.57	123.81	
—	目標	—	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
成果指標	料金回収率	目標	%	125	125	125	125	125
		実績	%	117	110	123	116	116
	達成率	%	93.60	88.00	98.40	92.80	92.80	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考	市民プランの細施策において縦断的な事業です。対象細施策の政策体系番号 05040105							

事務事業名	水道事業経営管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040102
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	今井明	連絡先	653

期	目標	実績	課題
第1期	新しい会計制度での決算書の作成	決算書の作成	特になし
第2期	平成26年度決算を受けて、今後の見込みについて検討	将来推計の結果、H27予算時にH28繰入金を970,000千円と見込んだが、900,000千円に減額できることが判明	特になし
第3期	平成28年度予算要求書の作成	予算要求書の提出	特になし
第4期	予算書の作成	予算書の作成	特になし

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡大	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①		
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦													
	拡大		③	⑥	⑨													
	現状維持		④	⑧	⑩													
	縮小	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性												
皆減	縮小	現状維持	拡大															
コスト投入の方向性																		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	<p>地方公営企業会計制度の見直しがあり、平成26年度から改正後の会計制度で経理を進めています。財務面から内部留保資金の適正な水準と投資可能額の算定を進めていく必要があります。（内部留保資金の下限を設定して、建設改良費を増加した上で施設改良を実施）</p>															<p>記号の定義</p> <p>A：計画どおり事業を進めることが適当</p> <p>B：事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要</p> <p>D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
	前年度総合評価判定															
	前年度評価シート整理番号 05040103															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
		経営管理に係る経費はできる限り安価に抑える努力を図っています。					経営管理に係る経費はできる限り安価に抑える努力を図っています。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡大		②	⑤	⑦	成果の方向性	拡大		
	現状維持		③	⑥	⑨		現状維持			レ
	縮小		④	⑧	⑩		縮小			
	休廃止	①					休廃止			
	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	<p>複式簿記による経理、財務諸表の作成などから経営状況の明確化が図れています。今後は、更新事業が多くなることから、財政面との整合性をとりながら、計画的に進めていく必要があります。</p>					<p>複式簿記による経理、財務諸表の作成などから経営状況の明確化が図れています。今後は、更新事業が多くなることから、財政面との整合性をとりながら、計画的に進めていく必要があります。</p>				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	上・下水道料金等賦課徴収事務	事業期間	平成 27 年度	整理番号	05040201
担当部署	都市建設部 水道課	営業係	永澤政昭	連絡先	670

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり 施策 04 第4節 上・下水道の整備充実 細施策 01 上水道の安定供給 事務事業 01 供給安定性の向上事業		
	予算事業名		会計コード	021 款 01 項 01 目 04 事業 一		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	上・下水道使用者、受益者に適正な料金、負担金の算定、賦課及び徴収を行う。また、収納管理を適正に行うとともに、未納者への納入督促及び催告を適正に行い、必要に応じて給水停止処分及び滞納処分を実施することにより収納率向上を目指す。				
	現状と背景 （どうして）	上・下水道会計の収益の確保及び適正に料金を算定するため、検針並びに休開始業務等を効率性を考慮して委託し、漏水等で料金が変更になる使用者に対しては的確に通知するよう努めている。また、景気低迷により、料金の未納額が増加傾向にある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	上・下水道使用者			
	対象 （直接働きかける）	上・下水道使用者（未納者含む）				
	意図	上・下水道料金の適正な算定及び料金の収納率向上。				
	手段・方法 （どうやって）	料金等を適正に算定するため、水道メーター検針数値の確定及び使用者並びに口座登録後の再確認を行う。収納率向上を目指すし、未納者への定期的な訪問及び電話による催告や夜間徴収の実施、大口未納者との折衝、転居時の住所の確認、口座振替の推進、早期給水停止処分等の実施により未納額が増加しないようにする。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		口座振替の推進	口座登録率	%	口座登録件数/延べ賦課件数	100
		給水停止による納入催告	給水停止納入率	%	納入額/給水停止対象額	100
		誤検針の減	正検針率	%	1 - 誤検針数/検針総数	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		収納率の向上	水道料金収納率	%	収納額/現年度調定額	100
収納率の向上		下水道使用料収納率	%	収納額/現年度調定額	100	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	48,362,653	46,803,522	49,200,574	47,413,863	50,346,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	48,362,653	46,803,522	49,200,574	47,413,863	50,346,000		
一般財源	円							
職員数	人							
正規職員	人	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00		
嘱託職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
臨時職員	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00		
合計	人	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	861.00	836.00	882.00	854.00	1,920.00		
D （ ）	活動指標	口座登録率	目標	%	100	100	100	100
			実績	%	80.20	80.10	79.99	79.99
		達成率	%	80.20	80.10	79.99	79.99	-
	給水停止納入率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	28.20				
		達成率	%	28.20				-
	正検針率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	99.98	99.98	99.98	99.98	
		達成率	%	99.98	99.98	99.98	99.98	-
O （ ）	水道料金収納率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	90.59	90.67	90.23	90.36	100
		達成率	%	90.59	90.67	90.23	90.36	100.00
	下水道使用料収納率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	88.39	88.05	86.64	86.56	100
		達成率	%	88.39	88.05	86.64	86.56	100.00
備考	平成20年4月1日水道課・下水道課統合により、事務事業集約 市民プランにおいて横断的な事業である。対象細施策体系番号05040202、06070207 給水停止納入率及び収納率の確定は5月末になる。平成26年度から下水道受益者負担金事務を統合した。							

事務事業名	上・下水道料金等賦課徴収事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040201
担当部署	都市建設部	水道課	営業係	作成担当者名	永澤政昭	連絡先	670

期	目標	実績	課題
第1期	給水停止処分の定期的実施 大口未納者との折衝による納入の推進 市外転出者への納入催告	給水停止処分を毎月実施(夢科白樺湖地区含む) 大口未納者(法人及び個人)との折衝 市外転出者への納入催告(主に文書)	大口滞納者への粘り強い折衝と滞納額の減少に向けた個別の対応が必要である。
第2期	給水停止処分の定期的実施 大口未納者との折衝による納入の推進 市外転出者への納入催告	給水停止処分の毎月実施(夢科白樺湖地区含む) 大口未納者(法人及び個人)との折衝 市外転出未納者への納入催告(主に文書)	大口未納者への個別の方針の策定と給水停止処分のより効果的な実施方法の検討及び市外転出者への対応のマニュアル化。
第3期	給水停止処分の定期的実施 大口未納者との折衝による納入の推進 市外転出者への納入催告	給水停止処分の毎月実施(夢科白樺湖地区含む) 大口未納者(法人及び個人)との折衝 市外転出未納者への納入催告(主に文書)	大口未納者への個別の方針の策定と給水停止処分のより効果的な実施方法の検討及び市外転出者への対応のマニュアル化。
第4期	給水停止処分の定期的実施 大口未納者との折衝による納入の推進 市外転出者への納入催告	給水停止処分の毎月実施(夢科白樺湖地区含む) 大口未納者(法人及び個人)との折衝 市外転出未納者への納入催告(主に文書)	大口未納者への個別の方針の策定と給水停止処分のより効果的な実施方法の検討。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 休 廃 止 方 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					4	A	
チェック					4					4					4		
課題	<p>上・下水道料金を適正に賦課及び徴収するために、各業務の検証を行い、委託可能業務であるかを判断していくためには、本業務のフルコスト・トータルコストの積算及び委託後の評価方法の検討が課題となる。また、収納率向上のために、口座振替の推進を図りながら、定期的に滞納整理票を出力し、適切な時期に給水停止処分及び滞納処分を実施することが必要であり、徴収担当職員の資質の向上が求められる。</p>															記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	
																前年度評価シート整理番号	05040201

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性			

改革・改善の方向性(ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持			レ
	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小			
	休 廃 止	①					休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	<p>○検針及び休開控業務を的確に行うため、委託先への指導を行う。 ○研修会を開催し、検針員及び休開控作業員の資質の向上を目指す。 ○収納担当職員を研修会に参加させ、適正な債権管理を図る。 ○本業務を今後、直営していただくことがよいか、包括的民間委託化をしていくことがよいか検証する。</p>					<p>○検針及び休開控業務を的確に行うため、委託先への指導を行う。 ○研修会を開催し、検針員及び休開控作業員の資質の向上を目指す。 ○収納担当職員を研修会に参加させ、適正な債権管理を図る。 ○本業務を今後、直営していただくことがよいか、包括的民間委託化をしていくことがよいか検証する。</p>				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	配水管整備事業	事業期間	平成 14 ~ 年度	整理番号	05040302
担当部署	都市建設部	水道課	作成担当者名	牛山和雄	連絡先
		上水道整備係			667

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 04 第4節 上・下水道の整備充実			
			細施策 01 上水道の安定供給			
			事務事業 04 安全で良質な水の供給事業			
	予算事業名			会計コード 021 款 01 項 01 目 01 事業 43		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	単独工事を実施するとともに、道路新設事業、下水道工事等に合わせて、公道に配水管を布設して、水の安定給水の確保と市民サービスの向上を図るとともに、民有地に布設されている共用給水管の解消を図る。				
	現状と背景 （どうして）	簡易水道を引き受けた歴史から、公道に配水管が布設されていない。また、民地内に共用管が多く布設されている。管口径も細く給水に支障をきたしている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	給水区域内住民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	民有地に布設されている配水管を廃止して、公道に配水管を新設する。 公道に配水管を布設して供用給水管を廃止する。 漏水事故等に対応できる管網の整備を行う。			
	手段・方法 （どうやって）					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		新設する配水管	配水管布設延長	km	年間の配水管の布設延長	63
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		新設する配水管	単年度配水管布設延長	km	配水管の布設延長	2

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	122,743,797	254,520,793	155,098,914	83,995,614	72,065,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円				39,000,000		
その他特定財源	円	122,743,797	254,520,793	155,098,914	44,995,614	72,065,000	
一般財源	円						
職員数	人						
正規職員	人	1.35	1.50	1.10	0.80	1.00	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	1.35	1.50	1.10	0.80	1.00	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	2,186.00	4,547.00	2,771.00	1,500.00	1,422.00	
D （ ）	活動指標	配水管布設延長	目標	km	63	63	63
			実績	km	47	49	51
	達成率	%	74.60	77.78	80.95	82.54	-
	目標	-					
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	単年度配水管布設延長	目標	km	2	2	2
			実績	km	4	2	2
	達成率	%	176.37	100.00	100.00	50.00	100.00
	目標	-					
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	配水管整備事業	事業期間	平成 14 ~	年度	整理番号	05040302
担当部署	都市建設部	水道課	上水道整備係	作成担当者名	牛山和雄	連絡先
						667

期	目標	実績	課題
第1期	事業費の25%を目標に工事を発注する。	事業費の25%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第2期	事業費の50%発注する。	事業費の55%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第3期	事業費の75%発注する。	事業費の75%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第4期	事業費の85%発注する。	事業費の85%を達成した。	関連工事に合わせて布設工事を計画する。

事中評価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
	拡充	②	⑤	⑦													
	現状維持	③	⑥	⑨													
	縮小	④	⑧	⑩													
休廃止	①																
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																	

評価年度	当年度																																													
評価の観点	妥当性				有効性				効率性				総合評価判定																																	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定																														
チェック				4					4					4	A																															
課題	<p>今後の事業実施には、共用給水管や民有地等に布設されている管路の解消を図ることや配水管網（ループ）化をし、上水道の安定供給に努めることが必要である。</p>												<p>記号の定義</p> <p>A：計画どおり事業を進めることが適当</p> <p>B：事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要</p> <p>D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>																																	
前年度総合評価判定													前年度総合評価判定																																	
前年度評価シート整理番号													05040302																																	
総合評価	細施策評価前						細施策評価後																																							
	<p>配水管の整備により、安定した水量、水圧で供給できるよう、市民の信頼に応えられる水道管の整備を図っていく必要がある。近年、共用給水管での漏水事故が多くなっているため、新たに水道管を公道下に布設して、そこから給水を1件ずつ取り直し、共用給水管を廃止したい。したがって、共用給水管路の延長距離を把握し、スピード化を図りながら計画的に整備（布設工事）していく必要がある。</p>						<p>配水管の整備により、安定した水量、水圧で供給できるよう、市民の信頼に応えられる水道管の整備を図っていく必要がある。近年、共用給水管での漏水事故が多くなっているため、新たに水道管を公道下に布設して、そこから給水を1件ずつ取り直し、共用給水管を廃止したい。したがって、共用給水管路の延長距離を把握し、スピード化を図りながら計画的に整備（布設工事）していく必要がある。</p>																																							
改革・改善策	前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性																																							
改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前						細施策評価後																																							
	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充		②	⑤	⑦	現状維持		③	⑥	⑨	縮小			④	⑧	⑩	休廃止	①				<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						拡充					現状維持				レ	縮小					休廃止		
拡充		②	⑤	⑦																																										
現状維持		③	⑥	⑨																																										
縮小		④	⑧	⑩																																										
休廃止	①																																													
拡充																																														
現状維持				レ																																										
縮小																																														
休廃止																																														
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																																														
改革・改善策	共用給水管や民有地等に布設されている管路の解消を図ることを優先し、それぞれの延長距離を把握する必要がある。						共用給水管や民有地等に布設されている管路の解消を図ることを優先し、それぞれの延長距離を把握する必要がある。																																							

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	マイクロ水力発電施設整備事業	事業期間	平成 23 ~ 27 年度	整理番号	05040307	
担当部署	都市建設部 水道課	給水維持係	作成担当者名	鷹野 鉄也	連絡先	665

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 02 第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす 施策 01 第1節 かけがえのない地球を守る 細施策 03 自然エネルギーの利用 事務事業 05 自然エネルギーの活用研究事業		
	予算事業名		会計コード	021 款 01 項 01 目 01 事業 43		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	新エネルギーの利用や二酸化炭素の吸収対策といった施策が市民プランに掲げている。茅野市の山岳地域特性を生かした新エネルギーの内、上水道を利用したマイクロ水力発電の実効性を調査し、発電施設を導入する。平成22年度の茅野市地域新エネルギー重点ビジョンで報告された。H26年度に美濃戸第1接合井を活用して実証実験を行った結果により、埴原田配水池での発電機設置を前提にマイクロ水力発電施設整備を行い、電力量と二酸化炭素の低減を図る。				
	現状と背景 （どうして）	豊富な自然エネルギーである水資源が活用されていない状況である。豊富な水資源を活用した新エネルギーの利用が必要とされている。その一つが上水道を利用した小水力発電である。				
目的	対象	受益者 （誰のために）	給水区域内住民			
	対象	対象 （直接働きかける）	同上			
目的	意図 （どんな状態にしたいか）	マイクロ水力発電機を導入し、配水池の井戸ポンプ等の電力使用量の1部を補う。また売電等による年間の電気料金の低減を図ると共に二酸化炭素排出量の削減を図る。				
	手段・方法 （どうやって）	H30年度、H31年度で建設予定の埴原田配水池でのマイクロ水力発電を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		電力量	回収電力量	KWh/年		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		電力量の削減	回収電力量	KWh/年		

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	2,752,000		9,504,000	2,000,000	2,000,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円	2,752,000		9,504,000	2,000,000	2,000,000	
一般財源	円						
職員数	人	0.10	0.10		0.50	0.50	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.50	0.50	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	49.00	-	170.00	36.00	103.00	
D （ ）	活動指標	回収電力量	目標 KWh/年				
		実績	達成率 %	-	-	-	-
	-	目標	実績	達成率 %	-	-	-
		実績	達成率 %	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	回収電力量	目標 KWh/年				
		実績	達成率 %	-	-	-	-
	-	目標	実績	達成率 %	-	-	-
		実績	達成率 %	-	-	-	-
備考							

事務事業名	マイクロ水力発電施設整備事業	事業期間	平成 23 ~ 27 年度	整理番号	05040307
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	鷹野 鉄也
				連絡先	665

期	目標	実績	課題
第1期	上水道管の小水力発電設置個所の調査。	富山県南砺市に設置されている上水道発電機の調査。	ダイキン工業の調査協力。
第2期	上水道管の小水力発電設置個所の調査。	ダイキン工業との合同茅野市内可能性調査。	茅野市内での実証実験の誘致。
第3期	減圧弁に代わる装置として小水力発電の開発。	ダイキン工業との合同茅野市内可能性調査。	ダイキン工業との連携
第4期	ダイキン工業との連携	ダイキン工業との連絡調整	製品開発に対する協力体制

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方向性

②	⑤	⑦
③	⑥	⑨
④	⑧	⑩
①		
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					レ	3	B
チェック																	
課題	埴原田配水池での発電の費用対効果を検討し、配管方法（配管フロー）等についてどうするか、実施に向けて検討する必要がある。															記号の定義	
																A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
																前年度総合評価判定	
																B	
																前年度評価シート整理番号	
																05040307	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
		豊富な水資源を活用した新エネルギー利用の一つとして、上水道を利用した小水力発電は有効である。					豊富な水資源を活用した新エネルギー利用の一つとして、上水道を利用した小水力発電は有効である。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後					
	今後の方向性	成果の方向性	拡大	②	⑤	レ	⑦	現状維持	③	⑥	⑨
		縮小	④	⑧		⑩	休廃止	①			
		休廃止	①				皆減縮小現状維持拡大				
			コスト投入の方向性			皆減縮小現状維持拡大			コスト投入の方向性		
改革・改善策	マイクロ水力発電により売電によって得られる収益は水道事業の運営に充てる。					マイクロ水力発電により売電によって得られる収益は水道事業の運営に充てる。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科 明敏
---------	------------	---------	------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

#N/A

事務事業名	原水・浄水事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040101
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	湯田坂 浩一	連絡先	665

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり						
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実						
				細施策	01	上水道の安定供給						
				事務事業	01	供給安定性の向上事業						
	予算事業名			会計コード		款		項		目		事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	上水道の原水を得るため、水利権のある区、財産区等と原水料金の契約や支払いや水道施設のため借りている土地の賃貸借契約と支払いを行う。 また、原水浄水について水道法に基づく、水質検査項目を検査頻度に応じ水質検査を行う。										
	現状と背景 （どうして）	上水道の安全安定供給										
	目的 的	対象 （誰のために）	上水道の需要者									
		対象 （直接働きかける）	同上									
		意図 （どんな状態にしたいか）	上水道の安全安定供給									
	手段・方法 （どうやって）	支払い事務の遂行 水質検査の徹底										
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値				
		水質検査の実施	水質検査の実施	箇所	原水48箇所、浄水31箇所の検査実施			79				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値				
		上水道の安定供給	水質の安全性	%	原水浄水の水質の安全箇所/79×100			100				

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	115,497,898	117,833,889	129,190,407
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	115,497,898	117,833,889	129,190,407	124,027,935	147,463,000
職員数	一般財源	円					
	正規職員	人			1.30	1.20	1.20
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人			1.30	1.20	1.20
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
O （ ）	活動指標	水質検査の実施	目標	箇所	79	79	79
			実績	79	79	79	
		達成率	%	-	-	100.00	100.00
	-	-	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-
	成果指標	水質の安全性	目標	%	100	100	100
			実績	100	100	100	
		達成率	%	-	-	100.00	100.00
	-	-	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	原水・浄水事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040101
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	湯田坂 浩一	連絡先	665

期	目 標	実 績	課 題
第1期	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 57箇所	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 57箇所	上水道の安全安定供給
第2期	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 57箇所	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 58箇所	上水道の安全安定供給
第3期	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 58箇所	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 59箇所	上水道の安全安定供給
第4期	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 59箇所	毎日検査 46箇所 毎月検査 31箇所 3カ月に一度検査 31箇所 全項目 16箇所 指標菌等 60箇所	上水道の安全安定供給

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
無し	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
上水道の安定供給には必要な事業である。	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	無し															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
上水道の安定供給には必要な事業である。	上水道の安定供給には必要な事業である。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	取水・送水ポンプ整備事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	05040103
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	小平 晃
				連絡先	665

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	01	上水道の安定供給
				事務事業	03	老朽管の改良・更新事業
	予算事業名			会計コード	021	款 01 項 01 目 02 事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	永年使用により、能力低下及び腐食した取水ポンプ・送水ポンプ並びに配管の取替を計画的に行う。				
	現状と背景 （どうして）	永年使用した取水ポンプ・送水ポンプは、能力低下を起こし、腐食した揚水管やポンプ回りの配管は水質悪化の原因となる恐れがあるため、給水が停止しないよう定期的に交換を行っている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者			給水区域内の市民や公共施設・事業所等
		対象 （直接働きかける）	水道施設			
	手段・方法 （どうやって）	安定した水道水の供給と錆等のない衛生的な水を供給する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		耐用年数の経過したポンプの更新	更新台数	台	累積更新ポンプ台数（平成16年～23年）	29
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ポンプの正常な運転	ポンプの非故障率	%	(44年間に故障したポンプの台数) / 44 (すべてのポンプ台数) × 100	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	14,464,000	50,284,500	43,750,800	14,137,200	81,059,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円	14,464,000	50,284,500	43,750,800	14,137,200	81,059,000
一般財源	円					
職員数	人	0.20	0.20	0.20	1.00	1.00
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.20	0.20	0.20	1.00	1.00
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	258.00	898.00	782.00	253.00	1,582.00
D （ ）	更新台数	目標	4	4	4	4
		実績	4	5	4	4
	達成率	100.00	125.00	100.00	100.00	-
	達成率	-	-	-	-	-
O （ ）	ポンプの非故障率	目標	100	100	100	100
		実績	98	100	100	100
	達成率	98.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	達成率	-	-	-	-	-
備考						

事務事業名	取水・送水ポンプ整備事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	05040103	
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	小平 晃	連絡先	665

期	目 標	実 績	課 題
第1期	横内送水場第5送水ポンプ取替	現場調査を実施	なし
第2期	蓼科第4水源揚水ポンプ取替	現場調査を実施	なし
第3期	白樺湖第3配水池第2号送水ポンプ取替	現場調査を実施	なし
第4期	城山送水ポンプ1.2号取替	現場調査を実施	なし

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 無し	<table border="1"> <tr> <td>今 成 果 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の 方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 成 果 拡 充	②	⑤	⑦	後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 果 拡 充	②	⑤	⑦														
後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ポンプ施設の更新は、水道水の安定供給には欠かせない事業であるので、故障してからの対応ではなく、計画的に進めていくことが適当である。	<p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	ポンプ単価が高額なため、耐用年数いっぱいまで使用し更新したいが、故障による断水はリスクが高いため見極めが要求される。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	05040406															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	ポンプ施設の更新は、水道水の安定供給には欠かせない事業であるので、故障してからの対応ではなく、計画的に進めていくことが適当である。						ポンプ施設の更新は、水道水の安定供給には欠かせない事業であるので、故障してからの対応ではなく、計画的に進めていくことが適当である。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																																				
	ポンプの寿命を延ばすため、湧水利用を促進する。						ポンプの寿命を延ばすため、長寿命になるような点検整備を行う。また、湧水利用を促進する。																																			
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成 果 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					成 果 拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①			<table border="1"> <tr> <td>成 果 拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					成 果 拡 充				現 状 維 持			レ	縮 小				休 廃 止			
成 果 拡 充	②	⑤	⑦																																							
現 状 維 持	③	⑥	⑨																																							
縮 小	④	⑧	⑩																																							
休 廃 止	①																																									
成 果 拡 充																																										
現 状 維 持			レ																																							
縮 小																																										
休 廃 止																																										
改革・改善策	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

#N/A

事務事業名		上水道施設の維持管理事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040102		
担当部署		都市建設部		水道課	給水維持係	作成担当者名		鷹野 鉄也		連絡先	665	
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり						
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実						
				細施策	01	上水道の安定供給						
				事務事業	02	維持管理システムの構築事業						
	予算事業名							会計コード	款	項	目	事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	水道施設に係る維持管理、配水池水源の点検、環境整備、水道施設緊急修理、修理用資材管理、配水調整を行う事業。										
	現状と背景 （どうして）	上水道の安定供給										
目的	対象 （誰のために）	上水道の受給者										
		上水道の受給者										
	意図 （どんな状態にしたいか）	上水道の安定供給										
手段・方法 （どうやって）		水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認。水道施設の緊急修理への対応。										
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値		
		水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認による上水道の安定供給	水道施設及び流量の確認	日	水道施設及び流量の確認					365		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値		
		上水道の安定供給	上水道の安定供給	%	正常稼働施設/水道施設×100					100		

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	251,115,337	179,422,876	163,416,569	182,255,484	275,161,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	251,115,337	179,422,876	163,416,569	182,255,484	275,161,000
	一般財源	円					
	職員数	人			2.20	2.20	2.20
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人			2.20	2.20	2.20	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	4,472.00	3,205.00	2,919.00	3,256.00	5,211.00	
活動指標	水道施設及び流量の確認	目標	日		365	365	365
		実績	日		365	365	365
	達成率	%	—	—	100.00	100.00	100.00
	目標	—					
	実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	—
成果指標	上水道の安定供給	目標	%		100	100	100
		実績	%		100	100	100
	達成率	%	—	—	100.00	100.00	100.00
	目標	—					
実績	—						
達成率	%	—	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	上水道施設の維持管理事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	05040102
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	鷹野 鉄也	連絡先	665

期	目 標	実 績	課 題
第1期	水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認による上水道の安定供給	漏水調査3箇所、漏水修理5箇所	NTT、中電等の立ち合いの徹底
第2期	水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認による上水道の安定供給	漏水修理2箇所	NTT、中電、建設業者等の立ち合いの徹底
第3期	水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認による上水道の安定供給	漏水修理2箇所	NTT、中電、建設業者等の立ち合いの徹底
第4期	水道施設及び配水流量の毎日点検の実施及び確認による上水道の安定供給	漏水修理2箇所	NTT、中電、建設業者等の立ち合いの徹底

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 無し	<table border="1"> <tr> <td>今 成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の 方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦														
後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 上水道事業を運営するためには、欠かせない事業である。	<p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	無し															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
上水道事業を運営するためには、欠かせない事業である。	上水道事業を運営するためには、欠かせない事業である。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 的 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定	成 果 的 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定
今 後 の 方 向 性	②	③	④	①	⑤	⑥	⑧	⑦	⑨	⑩
方 向 性										
性										
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科 明敏
---------	------------	---------	------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	老朽管更新事業	事業期間	平成 14 ~ 年度	整理番号	05040301
担当部署	都市建設部	水道課	作成担当者名	篠原弘明	連絡先
		上水道整備係			668

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 04 第4節 上・下水道の整備充実			
			細施策 01 上水道の安定供給			
			事務事業 03 老朽管の改良・更新事業			
	予算事業名		会計コード	021 款 01 項 01 目 02 事業 43		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	水道管の機能とは、水量、水圧を確保しながら住民に水を輸送することである。管路が老朽化すると出水不良、漏水事故等により住民に影響を及ぼすことになるため、管路更新が必要になる。大口径配水管の主要幹線はほとんど更新が終わっているが、小口径の老朽化した配水管が残っている。特に、残存する石綿セメント管及び硬質塩化ビニール管を耐震管へ更新することが求められている。				
	現状と背景 （どうして）	老朽管としては、石綿セメント管、硬質塩化ビニール管、鉄管があるが、特に石綿セメント管は漏水事故が多く耐震性の観点からも不適切な管材であることから、全量更新してライフラインの機能強化を図る必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	給水区域内住民			
		受益者 （誰のために）	同上			
		対象 （直接働きかける）				
		意図 （どんな状態にしたいか）	自然災害による影響を最小限にすることと、漏水のない水道管を整備することにより、安定・安心な給水と水資源の有効利用を図る。			
	手段・方法 （どうやって）	主要管路部と国道及び河川横断部の老朽管を更新します。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		老朽管を更新する。	累計更新済延長	m	累計更新済延長	40,722
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		全ての老朽管を更新する。	老朽管更新率	%	(老朽管更新済延長/老朽管総延長) × 100	100
	漏水修繕工事の少ない管路により、ライフラインとしての安定供給をおこなう。	非漏水等発生率	%	(1 - 漏水事故等発生日数 / 365) × 100	95	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	123,624,653	216,794,693	433,083,398	367,269,549	367,000,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円				39,000,000	100,000,000
その他特定財源	円	123,624,653	216,794,693	433,083,398	328,269,549	267,000,000
一般財源	円					
職員数	人					
正規職員	人	2.15	1.77	2.30	2.50	3.00
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	2.15	1.77	2.30	2.50	3.00
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	2,202.00	3,873.00	7,736.00	6,561.00	6,959.00
活動指標	累計更新済延長	目標	40,722	40,722	40,722	40,722
		実績	20,332	23,858	27,306	30,507
	達成率	49.93	58.59	67.05	74.92	
	達成率	%				
-	目標	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	老朽管更新率	目標	50	59	62	64
		実績	50	59	62	64
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	
	達成率	%				
非漏水等発生率	目標	95	95	95	95	
	実績	94	94	94	94	
達成率	98.95	98.95	98.95	98.95		
達成率	%					
備考						

事務事業名	老朽管更新事業	事業期間	平成 14 ~	年度	整理番号	05040301	
担当部署	都市建設部	水道課	上水道整備係	作成担当者名	篠原 弘明	連絡先	668

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事業費の25%を目標に工事を発注する。	事業費の30%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第2期	事業費の50%を目標に発注する。	事業費の50%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第3期	事業費の75%を目標に発注する。	事業費の75%を達成した。	季節、地区、施設の事情を考慮して発注すること。
第4期	事業費の80%以上を目標に工事を発注する。	事業費の84%を達成した。	計画的に事業を実施する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	整備距離が長い為、年数がかかる。また、施工困難な箇所があり、多額の費用が必要となる。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	05043101															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	事業は毎年実施して、送・配水管等の本管漏水事故件数も減少してきているが、有収率が上昇していない。今後は、更新が進んでいない、蓼科、白樺湖上水道も含め事業費を拡充して計画的に整備する。	事業は毎年実施して、送・配水管等の本管漏水事故件数も減少してきているが、有収率が上昇していない。今後は、更新が進んでいない、蓼科、白樺湖上水道も含め事業費を拡充して計画的に整備する。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持			
	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小			
	休 廃 止	①					休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	石綿管や塩ビ管等及び漏水が頻繁に起こる箇所（主に水圧の高い箇所）を優先的に行い、有収率の向上を図る。					石綿管や塩ビ管等及び漏水が頻繁に起こる箇所（主に水圧の高い箇所）を優先的に行い、有収率の向上を図る。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	紫外線処理施設整備事業	事業期間	平成 25 ~ 27 年度	整理番号	05040305
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	小平 晃
				連絡先	665

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	01	上水道の安定供給
				事務事業	04	安全で良質な水の供給事業
	予算事業名			会計コード	021	款 01 項 01 目 01 事業 43
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	現在、市内の水源47箇所の中で5箇所（高部第1、東岳、所窪、大沢、蓼科第4）が、クリプトスポリジウム等対策指針のレベル3となっていて毎月指標菌の検査を行っている。クリプトスポリジウムが検出された場合は、原水の取水停止が余儀なくされる。安心、安全でおいしい水を提供するため、指標菌が多く検出されている水源にクリプトスポリジウム等を不活性化させる紫外線処理施設を設置する。				
	現状と背景 （どうして）	レベル3の場合、クリプトスポリジウム等の予防対策として、ろ過設備か紫外線処理施設の整備が義務付けられているため、指標菌の検出度が高い水源の施設整備を行う。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	配水区域の給水を受けている市民		
		対象 （直接働きかける）	配水区域の給水を受けている市民			
	的 意 図 （どんな状態にしたいか）	安心、安全な水道水を供給する				
	手段・方法 （どうやって）	湧水を水源とする配水池に紫外線処理施設を設置して不活性化を図る。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		紫外線処理施設を設置	施設整備率	%	年度設置数/目標設置数×100	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		クリプトスポリジウムに感染しない	感染防止率	%	感染者数/区域給水人口×100	100

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円			75,825,720	83,008,800			
	財源内訳								
	国庫支出金	円			17,050,000	13,618,000			
	県支出金	円							
	地方債	円				10,490,000			
	その他特定財源	円			58,775,720	58,900,800			
	一般財源	円							
	職員数								
	正規職員	人			1.25	1.20			
	嘱託職員	人							
臨時職員	人								
合計	人			1.25	1.20				
	対象（者）数								
	延利用（者）数 (b)								
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
	受益者負担額	円							
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	1,355.00	1,483.00	-		
活 動 指 標 （ ）	施設整備率	目標	%			20	20		
		実績	%			20	20		
	-	達成率	%	-	-	100.00	100.00	-	
		目標	-						
	-	実績	-						
		達成率	%	-	-	-	-	-	
	成 果 指 標 （ ）	感染防止率	目標	%			100	100	
			実績	%			100	100	
		-	達成率	%	-	-	100.00	100.00	100.00
			目標	-					
-	実績	-							
	達成率	%	-	-	-	-	-		
備考									

事務事業名	紫外線処理施設整備事業	事業期間	平成 25 ~ 27 年度	整理番号	05040305
担当部署	都市建設部	水道課	給水維持係	作成担当者名	小平 晃
				連絡先	665

期	目 標	実 績	課 題
第1期	実施設計委託の実施	実施設計書作成 補助申請完了	早期着手
第2期	業者選定 工事の発注	入札の完了、業者の決定、協議会の設立	近隣住民に影響を与えない工程表の作成
第3期	安全に工事を行うための施工計画書の作成	施行者決定、月1回以上の合同会議の開催	冬場工事の安全管理、品質の確保
第4期	冬場工事のため入念な現場管理 3月末の竣工・運転	後期内(3月18日)竣工・稼働開始	施設整備費に多額の費用を要する

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 笹原、高部の整備が終了し、残り箇所への工事は埴原田配水池整備に併せ 施工したい。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
無し	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	A
過去の検査にて指標菌が検出された水源について、紫外線処理設備を導入する優先順位を検討する必要がある。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
	前年度総合評価判定										A										
	前年度評価シート整理番号										05040305										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	安心安全な水道水を供給するためには、必要な事業である。	安心安全な水道水を供給するためには、必要な事業である。					安心安全な水道水を供給するためには、必要な事業である。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1個所当たりの設備費が高価なため、計画的に整備していく必要がある。	1個所当たりの設備費が高価なため、計画的に整備していく必要がある。					1個所当たりの設備費が高価なため、計画的に整備していく必要がある。			
今後の方向性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

水道事業会計【茅野市】

事務事業名	基幹配水池更新事業	事業期間	平成 27 ~ 31 年度	整理番号	05040303
担当部署	都市建設部	水道課	水道整備係	作成担当者名	牛山和雄
				連絡先	667

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	01	上水道の安定供給
				事務事業	01	供給安定性の向上事業
	予算事業名			会計コード	021	款 01 項 01 目 02 事業 43
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	配水池は、取水施設から取り入れられた水を水道利用者へ安定的に水道水を給水するための施設である。茅野市上水道には38箇所の配水池があり、その中で北大塩水系には、大清水を水源とする北大塩中区配水池と埴原田配水池があり、両配水池は、築造されて既に50年以上が経過している。そのため、両配水池を更新して水道水の安定供給を図るとともに、紫外線殺菌装置を設置して水質の保全を図るものである。				
	現状と背景 （どうして）	56基の配水池・減圧槽・送水場が現在稼働しており、多くの配水池は老朽化が進んでいることから、計画的に更新を図る必要がある。緊急時対応の強化、配水区域の安定供給の観点から、市街地を配水区域に持つ、北大塩中区配水池及び埴原田配水池について改修更新を行う。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	給水区域内住民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	安定・安心な給水と水資源の有効利用を図る。			
	手段・方法 （どうやって）	北大塩中区配水池と埴原田配水池を更新する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		配水池を更新する。	配水池更新数	箇所	配水池更新数	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		老朽化した配水池を更新する。	配水池更新率	%	(配水池更新/2) × 100	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円				30,965,980	64,600,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円				30,965,980	64,600,000	
一般財源	円						
職員数	人				0.70	1.00	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人				0.70	1.00	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	553.00	1,288.00	
D （ ）	活動指標	配水池更新数	目標	箇所		2	2
			実績			0	0
		達成率	%			0.00	0.00
		目標	-				
	実績	-					
	達成率	%					
	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%					
O （ ）	成果指標	配水池更新率	目標	%		100	100
			実績			0	0
		達成率	%			0.00	0.00
		目標	-				
	実績	-					
	達成率	%					
備考							

事務事業名	基幹配水池更新事業	事業期間	平成 27 ~ 31 年度	整理番号	05040303
担当部署	都市建設部	水道課	上水道整備係	作成担当者名	牛山和雄
				連絡先	667

期	目標	実績	課題
第1期	北大塩中区配水池候補地の決定	3箇所から1箇所に決定した。	関係者の了解を得ること。
第2期	北大塩中区配水池に関する行政区、財産区及び地権者へ説明する。	7月中旬に行政区、財産区へ事業説明を実施した。	地権者の合意を得ること。
第3期	地権者へ事業説明を実施する。	10月中旬に土地所有者から内諾が得られた。	土地単価の合意を得ること。
第4期	土地売買契約書を締結する。	3月10日に用地取得が完了した。	配水池詳細計画の検討

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 埴原田配水池建設予定地の買収は、当初H29年度の予定であったが、周辺の土地利用が活発であるため、H28年度に買収を進めることとなった。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	レ	現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①			
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦	レ																
	現状維持		③	⑥	⑨																	
	縮小		④	⑧	⑩																	
	休廃止	①																				
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																

課題																記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	新規事業
															前年度評価シート整理番号	05043101	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	老朽化した配水地の整備により、安定した供給できるよう計画的に配水池の整備を図っていく必要がある。						老朽化した配水地の整備により、安定した供給できるよう計画的に配水池の整備を図っていく必要がある。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	レ			
方向性	現状維持		③	⑥	⑨					
	縮小		④	⑧	⑩					
休廃止	①									
皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性										

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	三上水の統合	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	05040111
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人
				連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	01	上水道の安定供給
				事務事業	05	三上水の統合事業
	予算事業名			会計コード	022	款 項 目 事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市内で認可を受けた三上水は、茅野市上水道と蓼科・白樺湖上水道の二事業体のため、効率的な施設整備が困難です。そのため、三上水を統合し経営を効率化することで、効果的な施設整備を進めるものです。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市が運営している上水道は、茅野市、蓼科・白樺湖上水道の二事業体になります。蓼科・白樺湖上水道は、赤字決算になっているため、老朽管等の布設替も思うように進んでいません。そこで、茅野市が運営している上水道を一本に統合することで、効率的な経営と施設整備を行う必要があるため事業を進めるものです。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	蓼科・白樺湖上水道を利用している受益者			
		対象 （直接働きかける）	水道事業			
		意図	茅野市内の三上水を統合し経営を一本にすることで、施設整備等を含めた事業運営を効率的に進めようとするものです。			
	手段・方法 （どうやって）	蓼科・白樺湖上水道を利用している受益者を対象に、説明会を開催し理解を得るようにします。また、水道事業認可を変更し茅野市上水道として一つに統合します。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		水道料金の改定	料金改定	%	蓼科・白樺地区の上水道料金の値上げについて検討	100
		茅野市上水道の認可変更	認可変更	%	3上水統合の県認可を取得する。	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		3上水の統合				

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数	人		0.10	0.20	0.30	0.30
延利用（者）数 (b)	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
単位コスト (a)/(b)	臨時職員	人					
	合計	人		0.10	0.20	0.30	0.30
受益者負担額	対象（者）数						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	40.00
活動指標	料金改定	目標	%				100
		実績	%				100
	認可変更	目標	%	-	-	-	100.00
		実績	%	-	-	-	100.00
	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
成果指標	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	三上水の統合	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040111
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人	連絡先	652

期	目 標	実 績	課 題
第1期	平成26年度決算を取込んだ資料作成	平成26年度決算を取込んだ資料作成	特になし
第2期	3上水統合後の水道料金体系について理事者と協議をする。	理事者との協議済	資料の作成をやり直すように指示を受け、検討しなおすこととした。
第3期	理事者との協議を終了させる。	理事者と協議料金の関係になるので、慎重に進める。	H28予算を取込み財政計画の精査を行い、単価の値下げ額を検討する。
第4期	理事者との協議を終了させる。	理事者と協議をし、検討内容について大口利用者へ説明した。	特になし。

事 中 評 価						
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充			
			現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
	休 廃 止	①				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
		1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
		チェック					4					4						4
課 題	<p>夢科白樺湖上水道の料金体系を茅野市上水道と統合することで利用者の負担が急激に上昇することになります。そのため、統合後の料金体系や激変緩和措置を検討する必要があります。</p>																	
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>																	
		前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					05040108	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	<p>夢科白樺湖上水道は、石綿セメント管を含めた老朽管が多く、有収率が低いため事業運営に支障があります。しかし、有収水量も年々減少し赤字経営となっているため、石綿セメント管等を更新することげできず、負のスパイラルに陥っています。</p>					<p>夢科白樺湖上水道は、石綿セメント管を含めた老朽管が多く、有収率が低いため事業運営に支障があります。しかし、有収水量も年々減少し赤字経営となっているため、石綿セメント管等を更新することげできず、負のスパイラルに陥っています。</p>					
	<p>3上水を統合することで経営基盤を強化し老朽管を更新することで、有収率が増加及び経費の削減ができるため、市営水道全体としても収支の改善が見込めます。</p>					<p>3上水を統合することで経営基盤を強化し老朽管を更新することで、有収率が増加及び経費の削減ができるため、市営水道全体としても収支の改善が見込めます。</p>					
		前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			レ			
	今 後 の 方 向 性	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持							
縮 小			④	⑧		⑩	縮 小								
休 廃 止		①					休 廃 止								
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
		平成29年度に3上水統合をするため、水道料金の値下げについて理事者と協議をしたので、今後、上水道運営審議会、市議会等に説明する必要があります。					平成29年度に3上水統合をするため、水道料金の値下げについて理事者と協議をしたので、今後、上水道運営審議会、市議会等に説明する必要があります。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道長寿命化対策事業	事業期間	平成 23 ~ 30 年度	整理番号	05040504
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島正彦
				連絡先	655

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 04 第4節 上・下水道の整備充実			
			細施策 02 公共下水道整備の充実			
			事務事業 01 管きよの延命化事業			
	予算事業名			会計コード 022 款 01 項 01 目 02 事業		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市の下水道施設も昭和49年に整備を開始し40年が経過し、施設の老朽化が発生し、道路陥没等の事故が発生した箇所もあります。このような現状から国は、事故の未然防止や限られた財源の中でライフサイクルコストの最小化を図るため、「下水道長寿命化支援制度」を新規事業として創設しました。当該事業は、下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づき「下水道長寿命化計画」を策定し、管路施設の延命化や耐震化及び事故の未然防止を図るために、管渠更生工事とマンホール鉄蓋交換工事を計画的に実施するものです。				
	現状と背景 （どうして）	当市の下水道は、平成26年度末で供用開始面積2,404.2haに達し、接続率も98.5%になり、面的な整備は終盤を迎えています。現状は、整備から30年を超えた管路施設が老朽化しつつあり、施設の延命化を図る必要があります。国の支援制度を活用し、下水道施設の点検・調査を行い、下水道長寿命化計画を策定し、管路施設の計画的な改築を進めるものです。				
	目的 対象	受益者 （誰のために）	下水道計画区域内の市民			
		対象 （直接働きかける）	老朽化した下水道管の延命を図る。			
	的 意図 （どんな状態にしたいか）	下水道施設の延命化を図るため、老朽化した下水道施設の調査・点検結果を基に、長寿命化計画を策定し、計画的な改築・更新を行い、下水道施設の健全化を図る。また、事故の未然防止及び及び限られた下水道事業財源の中でのライフサイクルコストの最小化を図る。				
	手段・方法 （どうやって）	管渠調査、長寿命化計画策定、管渠更生工事、管渠修繕工事、マンホール蓋交換工事を実施。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		スムーズな事業の実施	年間事業実施率	%	年間実施事業費/年度予算	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		スムーズな事業の遂行	全体事業遂行率	%	累積事業費/全体事業費	100

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	32,550,000	30,097,057	80,490,651
財 源 内 訳	国庫支出金	円	16,275,000	14,283,000	53,200,000	21,150,000	39,800,000
	地方債	円	14,647,500	14,260,675	19,769,900	19,500,000	59,580,000
	その他特定財源	円	1,627,500	1,553,382	7,520,751	2,226,415	6,620,000
	一般財源	円					
	職員数	人	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70
活 動 指 標	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	580.00	538.00	1,438.00	766.00	1,988.00
	成 果 指 標	年間事業実施率	目標	100	100	100	100
実績			100	100	100	100	100
達成率		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
-		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	
成 果 指 標	全体事業遂行率	目標	100	100	100	100	100
		実績	26	44	45	46	47
	達成率	25.80	44.16	45.39	46.00	47.00	
	-	目標	-	-	-	-	-
実績	-	-	-	-	-		
達成率	-	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	下水道長寿命化対策事業	事業期間	平成 23 ~ 30 年度	整理番号	05040504
担当部署	都市建設部 水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島正彦	連絡先
					655

期	目標	実績	課題
第1期	・社会資本整備総合交付金補助金交付申請(4/9付)の実施	・社会資本整備総合交付金補助金交付決定(4/9付)	・交付決定は受けたが、内示額が少なく雨水対策工事を優先し発注する。そのため、管渠整備を先延ばしし、第2期の発注を目指したい。
第2期	・発注済の金額を見ながら、内示額の範囲で管渠整備の発注を検討する。また、県へ増額申請の時期を伺い、予定している長寿命化対策工事をすすめたい。	・補助金の追加内示(9/3)を受け、雨水対策工事及び長寿命化計画策定業務が発注済できた。	・雨水、長寿命化対策工事は発注ができたが、長寿命化対策工事については補助金が不足している。実施に向けて補助金の追加要望を行う。第3期の発注を目指したい。
第3期	・内示額の範囲で長寿命化対策工事の発注を検討する。また、県へ不足分の補助金の追加要望を行う。	・補助金の追加内示(11/2)を受け、長寿命化対策(マンホール交換、管更生)工事が発注済できた。	・長寿命化対策工事を発注したが、補助金が不足している。不足分の追加要望を行う。
第4期	・第4期の竣工を目指す。	・最終の補助金の追加内示を受け、長寿命化対策(マンホール交換、管更生)工事が発注済できた。	・補助金の追加要望により、本年度の工事がすべて完了できた。しかし、当初より補助金の内示額が少ないため、長寿命化計画に優先順位をつけ、補助金を活用し事業を進めるように努める。

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 交付金の配分率が低く早期の発注が難しい。追加要望を受け冬場の工事が多くなる。予算内であれば前倒して事業を進めることも検討したい。	今後の方向性																				
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 新しい処理分区の長寿命化対策工事(管渠更生・マンホール鉄蓋交換)に取り掛かる。	方向性																				
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充				現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦																		
拡充																					
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																				

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	<p>平成25年2月に国より、茅野市公共下水道長寿命化計画が採択されました。今後は、この計画に沿って、老朽化した管渠の延命化並びに耐震化を図ります。茅野1-1の処理分区は5カ年計画で行います。この事業のスムーズな進捗を図り、次のステップへ以降したいと考えます。</p> <p>次のステップとして、どの処理区を長寿命化の対象とするか検討しました。やはり、施設年度も古く陶管やヒューム管の箇所が多い茅野1-2処理分区選定しました。平成26年度から長寿命化計画策定のための調査を行い、平成27年度に長寿命化計画を策定する予定です。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	05040504															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	24年度は、第1ステップとして茅野1-1処理分区の下水道長寿命化計画の採択を受けました。25年度より5カ年計画で老朽化した管渠の改築工事を計画に沿って行いました。平成26年度からは、第2ステップとして茅野1-2処理分区の下水道長寿命化計画策定に入り、H28より事業を順次進める予定です。	24年度は、第1ステップとして茅野1-1処理分区の下水道長寿命化計画の採択を受けました。25年度より5カ年計画で老朽化した管渠の改築工事を計画に沿って行いました。平成26年度からは、第2ステップとして茅野1-2処理分区の下水道長寿命化計画策定に入り、H28より事業を順次進める予定です。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
拡充										
現状維持	③	⑥	⑨							
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
1-1処理分区については、H25年度から管渠は5カ年計画、マンホールは3カ年計画で計画に沿って順次工事を進めている。茅野1-2処理分区については、H26・H27の2年間で、点検調査と長寿命化計画を策定し、H28年度から工事を進めます。この事業は、下水道施設の延命化と地震対策の両方に効果があります。	1-1処理分区については、H25年度から管渠は5カ年計画、マンホールは3カ年計画で計画に沿って順次工事を進めている。茅野1-2処理分区については、H26・H27の2年間で、点検調査と長寿命化計画を策定し、H28年度から工事を進めます。この事業は、下水道施設の延命化と地震対策の両方に効果があります。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道普及促進事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	05040601
担当部署	都市建設部	水道課	下水道管理係	作成担当者名	柳 沢 昭 弘
				連絡先	654

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	02	公共下水道整備の充実
				事務事業	02	接続率向上事業
	予算事業名			会計コード	022	款 01 項 01 目 03 事業 29
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	下水道区域内の建物において、低地等の条件により汚水を自然流下によって公共下水道に排除することが困難な家屋で、私設汚水ポンプを設置して下水道に接続する者、また私道等に共同の排水設備を敷設する者に、その設置費の一部を補助する制度です。				
	現状と背景 （どうして）	汚水ポンプを利用して下水道に接続する家屋は、自然流下により下水道に接続できる家屋に比較して排水設備の工事費負担が大きくなり、公共下水道への接続が進まなかった。また、私道等に下水道施設を設けるには個人負担となり多額の費用がかかるため、公共下水道への接続に当たり障害となっている。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	低地等の条件により汚水を公共下水道に自然流下によって排除することが困難な家屋を、汚水ポンプで下水道に接続する者。私道等に共同排水設備を設け公共下水道に接続する者。		
		対象 （直接働きかける）	低地等の条件により汚水を公共下水道に自然流下によって排除することが困難な家屋を、汚水ポンプで下水道に接続する者。私道等に共同排水設備を設け公共下水道に接続する者。			
		意図 （どんな状態にしたいか）	公共下水道への接続を促進し、下水道接続率を向上させる。			
	手段・方法 （どうやって）	受益者				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		補助制度利用件数	利用件数	件	ポンプ補助5件・共同排水設備2件	7
		融資あっ旋件数	融資あっ旋件数	件		5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		下水道接続率	下水道接続率	%	水洗化人口/下水道整備区域内人口	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	100,783	6,431,584	1,470,285	669,206	8,291,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	100,783	6,431,584	1,470,285	669,206	8,291,000		
一般財源	円							
職員数	人							
正規職員	人	0.15	0.15	0.15	0.80	0.15		
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.15	0.15	0.15	0.80	0.15		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	2.00	115.00	26.00	12.00	168.00		
D O （ ）	活動指標	利用件数	目標	件	7	7	7	3
			実績	件	7	2	2	3
		達成率	%	100.00	28.57	28.57	14.29	100.00
	融資あっ旋件数	目標	件	5	5	3	2	1
		実績	件	1	4	3	2	1
		達成率	%	20.00	80.00	100.00	100.00	100.00
成果指標	下水道接続率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	99	99	99	99	
	達成率	%	98.60	98.70	98.80	98.90	99.00	
		目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	下水道普及促進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040601
担当部署	都市建設部	水道課	下水道管理係	作成担当者名	柳沢 昭弘	連絡先	654

期	目標	実績	課題
第1期	湖東地区の未接続世帯を訪問し、下水道接続をお願いしていくためのデータの整理。	机上による未接続宅のデータ整理。	訪問にあたっては、未接続状況の把握が必要。
第2期	個々の未接続状況(接続できない理由等を把握する)。	机上による未接続宅のデータ整理。	訪問日程の調整。
第3期	訪問の実施。	訪問の実施。	昼時間帯の訪問のため、留守が多くチラシのポストインが多数であった。
第4期	実施状況の取りまとめ。	実施状況の取りまとめ。	ポストインを前提としたチラシの見直しが必要。

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性																				
10月異動での係業務の把握や、白樺湖浄化センター重油流入事故の発生により多くの時間がこれらに費やされてしまったため、前任者の目標設定値には届かなかった。																					
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)																					
<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充				現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦																		
拡充																					
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																				
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4	3				4					4	A
チェック																

課題	記号の定義	前年度総合評価判定		前年度評価シート整理番号	
		公共下水道への接続には、工事をするにあたり自己負担費用がかかり、立地条件によってはその額が大きくなるため、接続にあたってネックとなるケースがあります。低地における下水道への接続、下水道本管の整備されている市道から離れている敷地等が、このケースにあたります。低地の場合の汚水ポンプによる下水道への接続や、複数戸により共同で排水設備を整備して下水道へ接続する方法により、補助制度を利用することで自己費用負担の軽減を図ることができます。補助制度の利用件数はわずかで年度によりばらつきがありますが、当事業は下水道の接続率を確実に向上させるものです。今後更なる普及活動により補助制度を広く知っていただく必要があります。	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要		

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	低地等の条件が悪い場合、下水道接続にかかる費用は大きなものとなり、未接続の要因となっています。補助制度の利用件数はわずかで年度によってばらつきがありますが、下水道普及率の向上とともに下水道接続について市民の感心は高まっているものの、まだまだ未接続家屋が多く残っていることから、今後も計画的に事業を進めることが適当と評価します。当事業は下水道接続率を向上させる一要因であり、結果として住環境と自然環境が向上し快適な都市環境の形成につながります。	低地等の条件が悪い場合、下水道接続にかかる費用は大きなものとなり、未接続の要因となっています。補助制度の利用件数はわずかで年度によってばらつきがありますが、下水道普及率の向上とともに下水道接続について市民の感心は高まっているものの、まだまだ未接続家屋が多く残っていることから、今後も計画的に事業を進めることが適当と評価します。当事業は下水道接続率を向上させる一要因であり、結果として住環境と自然環境が向上し快適な都市環境の形成につながります。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
拡充										
現状維持	③	⑥	⑨							
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
改革・改善策	実施している補助制度は、下水道接続率を向上させる要因であり、快適な都市環境の形成へとつながります。公共下水道への接続には自己負担がかかりますが、建物の増築、改築や改修工事にあわせて行うケースが多いので、この機会に補助制度をPRし確実に下水道に接続していただくよう進めます。					実施している補助制度は、下水道接続率を向上させる要因であり、快適な都市環境の形成へとつながります。公共下水道への接続には自己負担がかかりますが、建物の増築、改築や改修工事にあわせて行うケースが多いので、この機会に補助制度をPRし確実に下水道に接続していただくよう進めます。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	茅科地区の下水道整備（検討中）	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	05040109
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人
				連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実		
				細施策	02	公共下水道整備の充実		
				事務事業	03	茅科地区下水道整備事業		
	予算事業名			会計コード	022	款	項	目
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅科地区の汚水は、開発事業者が管理する汚水処理と個人が管理する合併浄化槽等により処理がされています。開発事業者が管理する汚水処理施設は、建設が古く厳しくなっている水質基準に対応することが難しく、将来的に開発事業者が倒産等で茅科地区の開発地の管理を放棄した場合、行政が何らかの対応をしなければなりません。そのため、開発事業者が存続しているうちに汚水処理については、流域下水道へ接続することで将来の危機回避を図ることを目的としています。							
現状と背景 （どうして）	水質基準が厳しくなり開発事業者の対応如何では、下流域の水質汚染が懸念されること、また、開発事業者が経営困難になった時には、行政が何らかの対応をとらなくてはならないことから、将来の危機回避として下水道を整備する必要があると考えます。							
目的	対象	受益者 （誰のために）	茅科地区に建物を所有する者					
	対象	対象 （直接働きかける）	汚水処理					
目的	意図 （どんな状態にしたいか）	茅科地区の汚水を豊田処理場で処理することで、茅科地区の汚水処理が将来においても開発事業者の経営状況に左右されず安定的に処理ができるようにします。						
手段・方法 （どうやって）	県が布設した流域下水道管きよ（終点北山湯川地区）から茅科地区の北八ヶ岳リゾートの管理する汚水処理施設までの幹線管きよを布設します。							
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円				14,666,400	15,627,600	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円				14,666,400	15,627,600	
一般財源	円						
職員数	人				0.10		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人				0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	262.00	279.00	
D O （ ）	活動指標	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
		目標	-				
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	目標	-				
		実績	-				
達成率		%	-	-	-	-	
目標		-					
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	夢科地区の下水道整備（検討中）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040109
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人	連絡先	652

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4
	課 題													記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
前年度総合評価判定																	
前年度評価シート整理番号																	
総 合 評 価	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後										
	前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性										

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦		成 果 的 拡 充				レ
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持				
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
夢科地区の全体計画面積（約1,600ha）となるが、デベロッパーにより開発された区域が大半となるため、当面、夢科湖周辺の汚水を処理するため、下水道を整備することとし、事業費を抑えて下水道使用料への影響を最小限とすることとする。夢科湖周辺までの整備が終了するまでには、デベロッパーと協議し下水道区域を広げるか検討することとする。						夢科地区の全体計画面積（約1,600ha）となるが、デベロッパーにより開発された区域が大半となるため、当面、夢科湖周辺の汚水を処理するため、下水道を整備することとし、事業費を抑えて下水道使用料への影響を最小限とすることとする。夢科湖周辺までの整備が終了するまでには、デベロッパーと協議し下水道区域を広げるか検討することとする。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道事業計画管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040101
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	松田剛史	連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり							
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実							
				細施策	02	公共下水道整備の充実							
				事務事業	04	下水道整備事業							
	予算事業名			会計コード	022	款	01	項	02	目	01	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	下水道事業の全体計画、事業実施計画、事業認可等の取得など、下水道事業を実施するために必要となる計画管理業務です。事業認可を取得するためには、必要な図面（今後数年間の事業計画を定める計画書及び計画図）を作成し、県と協議を行った上で、事業計画の協議をする必要があります。それらの計画を管理する業務です。											
	現状と背景 （どうして）	諏訪湖の水質保全や快適な生活環境に欠かすことのできない下水道は、事業を行う前に県等の計画との整合性を図った全体計画・事業計画を策定した上で、どこを整備するかといった事業の認可を受けるなど、計画の管理が必要です。											
	目的	対象	受益者 （誰のために）	下水道区域計画内の市民									
		対象	対象 （直接働きかける）	下水道事業									
		意図 （どんな状態にしたいか）	事業計画を策定し、下水道の利用が可能になる区域、人口の計画をたてる。										
	手段・方法 （どうやって）	区域別戸数調査、地形調査、管路計画、流量計算など計画策定のための調査、設計。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		下水道計画区域の調査	計画区域調査	ha	市内全域の下水道計画区域の見直し			3,246					
		下水道計画区域の調査（H24ND）	計画区域調査（H24ND）	ha	下水道事業計画面積（平成24年度変更分）			40					
		下水道計画区域の調査（H27ND）	計画区域調査（H27ND）	ha	下水道事業計画面積（平成27年度変更分）			165					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		下水道計画区域（案）の策定	計画面積割合	%	下水道事業計画面積／下水道全体計画計画面積			100					

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	16,275,000		1,458,000	5,259,600		
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	16,275,000		1,458,000	5,259,600		
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人	1.00	1.00	0.10	0.30		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	1.00	1.00	0.10	0.30	0.30		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	290.00	—	26.00	94.00	—	
活 動 指 標 （ D O ）	計画区域調査	目標	ha	3,390	3,246	3,246	3,246	3,246
		実績	ha	3,246	3,246	3,246	3,246	3,246
		達成率	%	95.75	100.00	100.00	100.00	100.00
	計画区域調査（H24ND）	目標	ha	40				
		実績	ha	40				
		達成率	%	100.00	—	—	—	—
	計画区域調査（H27ND）	目標	ha				165	
		実績	ha				165	
		達成率	%	—	—	—	100.00	—
	計画面積割合	目標	%	71	80	80	85	85
		実績	%	80	80	80	85	85
		達成率	%	112.83	100.00	100.00	100.00	100.00
—	目標	—						
	実績	—						
	達成率	%	—	—	—	—	—	

備考 次回の計画変更予定は平成26～27年度。計画区域調査（H19ND）には蓼科地区、白樺湖地区を含みます。市民プランの細施策において縦断的な事業です。

事務事業名	下水道事業計画管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040101
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	松田剛史	連絡先	652

期	目標	実績	課題
第1期	白樺湖下水道の区域を茅野市公共下水道へ編入するための法手続きの事前協議書を県へ提出。	白樺湖下水道の区域を茅野市公共下水道へ編入するため、都市計画の変更について事前協議書を県へ提出。	特になし
第2期	都市計画変更案について閲覧、縦覧の手続きを進める。	都市計画変更案について閲覧、縦覧の手続きを進めることができた。	特になし
第3期	都市計画の変更について決定する。	都市計画の変更について決定した。	特になし
第4期	事業計画の変更について県と協議	事業計画の変更について県に了承してもらう。	特になし

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦	現状維持		③	⑥	⑨	縮小		④	⑧	⑩	休廃止	①			
今後の方向性	拡充			②	⑤	⑦																
	現状維持			③	⑥	⑨																
	縮小			④	⑧	⑩																
	休廃止	①																				
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	
課題	<p>次回の計画変更に向けて、既認可区域の周縁部の扱い等、流域下水道管理者と調整を進める必要があります。</p>															<p>記号の定義</p> <p>A：計画どおり事業を進めることが適当</p> <p>B：事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要</p> <p>D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	05040101															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	評価	<p>次回の計画変更に向けての調整を進める必要があります。大きな変更は行わないことが妥当ですが、市民プランの将来像の実現に向けて、必要な見直しは行うことが妥当です。また専門性が高い事業のため、効率的に外部委託を導入しています。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後																																				
	方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充		②	⑤	⑦	現状維持		③	⑥	⑨	縮小		④	⑧	⑩	休廃止	①				<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					現状維持				レ	縮小					休廃止			
拡充		②	⑤	⑦																																						
現状維持		③	⑥	⑨																																						
縮小		④	⑧	⑩																																						
休廃止	①																																									
拡充																																										
現状維持				レ																																						
縮小																																										
休廃止																																										
方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																																				
改革・改善策	<p>快適で衛生的な生活環境を保持するため、また公共水域の保全のためにも、下水道の整備は重要であり、そのためには全体計画、認可計画、実施計画の管理は必要不可欠です。そのため、事業の執行に支障がないように管理を行います。</p>																																									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道整備事業	事業期間	平成 S55 ~ 年度	整理番号	05040501
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島 正彦
				連絡先	655

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	02	公共下水道整備の充実
				事務事業	04	下水道整備事業
	予算事業名			会計コード	022	款 01 項 01 目 04 事業 一
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な下水道工事を進め、下水道未整備区域の解消のため公共下水道の整備・促進を図る。 ・過年度行った下水道管布設箇所の路面の舗装本復旧を行う。 ・公共下水道供用開始区域内において、後年度新規受益者となった土地に公共汚水枡の設置を行う。 				
	現状と背景 （どうして）	下水道整備計画に基づき、下水道未整備区域の面整備を進める。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	下水道整備区域内の未整備地域住民		
			対象 （直接働きかける）	下水道未整備区域の住民に対し、早期の下水道普及を図る。		
			意図 （どんな状態にしたいか）	下水道未整備区域の下水道本管を整備し、下水道普及率を上げることにより、公共水域の環境保全及び地域住民の衛生的生活を保障する。		
	手段・方法 （どうやって）	下水道本管布設工事を進め、下水道未供用地区の解消を図る。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		未整備区域の下水道本管工事	目標工事延長	m	計画工事延長	
		未整備区域の下水道本管理設	工事発注	%	実施工事延長/計画工事延長	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		未整備区域の解消	整備率	%	年度未整備率/年度末目標整備率	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	65,585,000	134,579,000	80,832,282	34,446,707	112,821,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円	62,305,750	127,850,050	68,515,180	26,600,000	107,100,000			
その他特定財源	円	3,279,250	6,728,950	12,317,102	7,846,707	5,721,000			
一般財源	円								
職員数	人								
正規職員	人	1.50	1.50	1.30	1.30	1.30			
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	1.50	1.50	1.30	1.30	1.30			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	1,168.00	2,404.00	1,444.00	615.00	2,190.00			
D （ ）	活動指標	目標工事延長	目標	m	500	580	2,175	1,501	1,000
			実績	m	623	608	1,903	924	1,000
		達成率	%	124.60	104.83	87.49	61.56	100.00	
	工事発注	目標	%	100	100	100	100	100	
		実績	%	88	85	85			
		達成率	%	88.00	85.00	85.00			
成果指標	整備率	目標	%	72	74	77	78	79	
		実績	%	73	76	77	78	79	
	達成率	%	101.39	102.70	100.00	100.00	100.00		
備考	目標	%							
	実績	%							
備考	下水道未整備区域の解消が徐々にされており、下水道整備率及び普及率も増加している。								

事務事業名	下水道整備事業	事業期間	平成 S55 ~	年度	整理番号	05040501
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島正彦	連絡先
						655

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・舗装復旧工事の設計・発注	・単独公共下水道舗装復旧No.1発注 ・単独公共下水道舗装復旧No.3発注 ・単独公共下水道舗装復旧No.4発注	・早期完了を目指し、市民生活への影響を極力小さくするよう努める。
第2期	・舗装復旧工事の設計・発注	・単独公共下水道舗装復旧No.2発注他6件	・早期完了を目指し、市民生活への影響を極力小さくするよう努める。
第3期	・舗装復旧工事の設計・発注	・単独公共下水道舗装復旧すべて完了	・現地調査し発注を進めたが、とりやめになった。現在まで発注に至らなかった経過も理由も調査する。
第4期	・計画的な復旧のため、舗装未復旧箇所の洗い出し	・舗装復旧台帳を基に市内調査を実施し、舗装未復旧箇所した。	・舗装未復旧箇所が多く残っている。水道課では舗装復旧のみ。路盤入替が必要な状況が多くあり、道路管理者と協議が必要である。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 下水道未整備区域の解消のため、公共下水道管路布設、路面の舗装復旧等を実施する。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>下水道整備率は92.3%を超えたが、より施工条件の悪い箇所や市道用地の未登記により、下水道工事が着手できない場所等があり、より下水道整備が困難な場所が残っている。これらの箇所を根気良く解決するには、時間を要することが懸念される。また、小規模工事が大半を占め現地に合わせた工法や集約的工事発注やコストの縮減に努めなければならない。</p> <p>合併浄化槽の検討を踏まえた上で、下水道の未供用地域解消のため、本事業を継続し、努力していく必要がある。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	05040501															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	平成24年度末で、下水道面整備率は92.3%、接続率は98.9%となった。しかし、色々な問題で未整備箇所が残っており、解決するには困難なものが多いが、徐々に問題を解消し整備する必要がある。また、住宅地開発が進み、新たな整備区域が予想される。今後の事業実施にあたっては、問題解決を根気よく行い、未整備地区の市民に理解をしていただき、下水道の普及促進を図るものである。						本年度は、下水道未整備箇所1件の解決に取り組んでいます。解決には時間を要する状況ではありますが、時間をかけ理解していただくよう交渉します。下水道整備率を向上させるため、未整備地区の解消に取組みます。また、例年通り舗装未整備箇所も計画的に進めます。			
前年度改革・改善策の実施状況										

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	下水道を普及することは、公共水域の保全や衛生的で快適な都市生活を営むためには必要不可欠なこととして、地域住民に保障しなければならない。今後は、未整備地域の見直しを行い、新たな解決方法を検討し、最善策を見出し、未整備地域の解消を行いたい。					下水道を普及することは、公共水域の保全や衛生的で快適な都市生活を営むためには必要不可欠なこととして、地域住民に保障しなければならない。今後は、未整備地域の見直しを行い、新たな解決方法を検討し、最善策を見出し、未整備地域の解消を行いたい。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	諏訪湖流域下水道処理場等建設費負担金（豊田処理場）	事業期間	平成 S46 ~ 年度	整理番号	05040105
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人
				連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	02	公共下水道整備の充実
				事務事業	04	下水道整備事業
	予算事業名			会計コード	022	款 項 目 事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	諏訪湖流域下水道は、昭和46年に諏訪湖に代表される公共用水域の水質保全、生活環境の整備を目的として事業に着手されました。現在、立科町が加わり3市2町1村が処理区域として事業が継続されています。諏訪湖流域下水道は、いくつもの市町村が共同で汚水を処理するため、県が主体となり処理場等を建設し、その事業費に対して構成市町村が計画面積、計画汚水量の割合で建設費を負担しています。				
	現状と背景 （どうして）	諏訪地域は、各市町村の汚水を諏訪市の豊田処理場で処理する流域下水道を採用しているため、県が主体で進める処理場等の事業に対する費用を負担する必要があります。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	下水道区域内の住民		
			対象 （直接働きかける）	市内から排出される汚水		
		意図 （どんな状態にしたいか）	諏訪湖に代表される公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現。			
	手段・方法 （どうやって）	処理場等の老朽化に伴う突然の停止等の予防として、長寿命化対策を行うなど施設の延命化を図りながら、改築更新を進めていきます。建設費負担金は、構成市町村がその事業に対して負担するものです。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		下水道を利用可能な市民	普及率	%	下水道処理区域内人口/行政区域内人口	98
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		下水道を利用できる市民	水洗化率	%	水洗化人口/行政区域内人口	98

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	31,869,440	41,318,307	23,134,773	31,504,230	122,613,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円	30,500,000	38,600,000	16,100,000	27,500,000	121,600,000			
その他特定財源	円	1,369,440	2,718,307	7,034,773	4,004,230	1,013,000			
一般財源	円								
職員数	人								
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人								
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	568.00	738.00	413.00	563.00	2,190.00			
D （ ）	活動指標	普及率	目標	%	98	98	98	98	98
			実績	%	97	98	98	98	98
	達成率	%	98.47	99.80	99.59	99.69	100.00		
	目標	-							
実績	-								
達成率	%	-	-	-	-	-			
O （ ）	成果指標	水洗化率	目標	%	98	98	98	98	98
			実績	%	95	95	96	96	96
	達成率	%	97.14	97.24	97.45	97.55	97.96		
	目標	-							
実績	-								
達成率	%	-	-	-	-	-			
備考									

事務事業名	諏訪湖流域下水道処理場等建設費負担金（豊田処理場）	事業期間	平成 S46 ~	年度	整理番号	05040105	
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人	連絡先	652

期	目 標	実 績	課 題
第1期	特になし	特になし	特になし
第2期	特になし	特になし	特になし
第3期	特になし	特になし	特になし
第4期	特になし	特になし	特になし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	建設費負担金の算定方法で、現在、計画面積割50%、計画汚水量割50%となっています。しかし、雨水の入る合流式ではないため、計画面積割が建設費負担金の算定のもととなることに疑問を感じます。今後、機会があれば建設費負担金の算定について、計画汚水量割100%となるように主張したいと考えています。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																A					
前年度評価シート整理番号																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	諏訪湖流域関連茅野市公共下水道は、諏訪湖流域下水道区域内であり、本市下水道のすべてをカバーしています。今後も、流域下水道事業に必要な建設事業に対して負担していくことが必要だと考えます。						諏訪湖流域関連茅野市公共下水道は、諏訪湖流域下水道区域内であり、本市下水道のすべてをカバーしています。今後も、流域下水道事業に必要な建設事業に対して負担していくことが必要だと考えます。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性 拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改革・改善策	諏訪湖流域下水道は、本市の汚水処理を行っていくために不可欠の事業であるため、流域下水道の建設事業については、今後も継続していく必要があります。県が事業主体であるが、多額の負担金を支出していることから、より効率的な事業運営ができるように促進協議会などで意見交換を重ねていく必要があります。					諏訪湖流域下水道は、本市の汚水処理を行っていくために不可欠の事業であるため、流域下水道の建設事業については、今後も継続していく必要があります。県が事業主体であるが、多額の負担金を支出していることから、より効率的な事業運営ができるように促進協議会などで意見交換を重ねていく必要があります。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	公共下水道保持事業	事業期間	平成 7 ~ 年度	整理番号	05040503
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島正彦
				連絡先	655

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 04 第4節 上・下水道の整備充実			
			細施策 02 公共下水道整備の充実			
			事務事業 04 下水道整備事業			
予 算 事 業 名				会計コード 022 款 01 項 01 目 05 事業 一		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	通常の下水道工事は、国庫補助事業や単独事業で行われ、これらの事業の財源は、国庫補助金、起債及び自己財源で充当される。しかしこの事業は、国庫補助事業や起債対象とならない下水道施設の保持に必要な工事である。本事業の対象工事は、道路改良等による下水道管渠布設替え等の保障工事、下水道中継ポンプ場の施設更新工事及び下水道事業認可区域外の下水道工事である。					
現状と背景 （どうして）	公共下水道施設は都市施設としてその機能を失うことはできないので、その保持に必要な工事である。					
目 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	公共下水道の受益者。				
	対象 （直接働きかける）	公共下水道施設全般。				
	意 図	都市施設としての公共下水道機能の保持。				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	道路改良等の下水道以外の外的要素が要因となるため、長期的な計画事業とならないため、要因の個々に対する保持工事となる。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		公共下水道施設の保持に必要な対処対応件数	対応率	%	対応件数/事業対象件数＝	100
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		既存の公共下水道施設の保持が行われている事	保持率	%	機能保持件数/対応件数＝	100

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	39,997,650	17,532,900	49,984,560	38,886,480	39,000,000	
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	39,997,650	17,532,900	49,984,560	38,886,480	39,000,000
職 員 数	正 規 職 員	人	0.50	0.30	0.50	0.50	
	嘱 託 職 員	人					
	臨 時 職 員	人					
合 計	人	0.50	0.30	0.50	0.50	0.50	
対 象 (者) 数							
延 利 用 (者) 数 (b)							
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受 益 者 負 担 額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	712.00	313.00	893.00	695.00	764.00	
D O （ ）	対 応 率	目 標	%	100	100	100	100
		実 績	%	65	77	67	100
		達 成 率	%	65.00	77.00	67.00	100.00
	—	目 標	—				
		実 績	—				
		達 成 率	%	—	—	—	—
成 果 指 標	保 持 率	目 標	%	100	100	100	100
		実 績	%	75	80	80	100
	達 成 率	%	75.00	80.00	80.00	100.00	
	—	目 標	—				
実 績	—						
達 成 率	%	—	—	—	—		
備 考	工事の要因が外的なものが多く、計画的な事業ではないが、必要不可欠な事業である。						

事務事業名	公共下水道保持事業	事業期間	平成 7 ~	年度	整理番号	05040503	
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	作成担当者名	飯島正彦	連絡先	655

期	目標	実績	課題
第1期	・米沢塩沢地籍で実施する諏訪湖流域下水道工事に伴う下水道布設工場の設計・発注	・純単公共下水道管渠布設工事№1発注	・早期完了を目指し、市民生活への影響を極力小さくするよう努める。
第2期	・玉川神之原及び宮川茅野地籍のポンプ更新工場の設計・発注	・ポンプ更新工事2件(玉川神之原及び宮川茅野地籍)発注	・早期完了を目指し、市民生活への影響を極力小さくするよう努める。
第3期	・純単工場の設計・発注	・ポンプ更新工事2件(玉川神之原及び宮川茅野地籍)完了 ・諏訪湖流域下水道工事に伴う下水道布設工事完了	・早期完了を目指し、市民生活への影響を極力小さくするよう努める。
第4期	・県道拡幅工事に伴う純単工場の設計・発注	・予定工事すべて完了	特になし

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡大	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡大		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 下水道管渠布設替え等の補償工事、下水道中継ポンプ場の施設更新工事及び下水道事業認可区域外の下水道工事を実施する。	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	道路新設及び改良等の要因の起因者は、国や県であり、計画段階での調整や布設替えに伴う設計委託が必要となる。また、工事発注も起因者に合わせる必要が生じる。財源として、起因者に補償費を求めることができるが、国などは監督処分を求める場合がある。															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	05040503															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	既存施設の保持には、維持管理的なものもあるが、既存施設に不具合が生じたり場合の改築や、効率を良くするための布設替え等もあり、今後は、施設の延命化を考えた事業計画も必要と考えます。	施設の延命化を考えた事業計画を進める。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡大		②	⑤	⑦	成果の方向性	拡大		
方向性	現状維持		③	⑥	⑨	現状維持			レ	
	縮小		④	⑧	⑩	縮小				
	休廃止	①				休廃止				
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	受益者である市民のために、公共下水道施設を保持していくことは、下水道管理者の義務であり、永年続く事業です。今後も、現状維持のまま、その都度問題を解決していく必要がある。					受益者である市民のために、公共下水道施設を保持していくことは、下水道管理者の義務であり、永年続く事業です。今後も、現状維持のまま、その都度問題を解決していく必要がある。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道施設維持管理事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	05040402
担当部署	都市建設部	水道課	下水道管理係	作成担当者名	五味 健太郎
				連絡先	654

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	02	公共下水道整備の充実
				事務事業	02	接続率向上事業
	予算事業名			会計コード	022	款 01 項 03 目 01 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市内に埋設されている下水道管渠内の点検調査を行い不具合箇所の補修・清掃、道路上に設置されているマンホール鉄ふたの更新、中継ポンプ場を含め71箇所のポンプ場の清掃・点検及びマンホール周辺の舗装の補修を行っています。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市公共下水道は供用開始から30年以上経過しており、下水道管渠、中継ポンプ場を含め71箇所のマンホールポンプ場の適切な維持管理（清掃・点検・補修・修理）が求められています。また、道路上のマンホール鉄蓋及び周りの舗装の傷みについては、迅速な交換、補修も求められています。				
	目的	受益者 （誰のために）	下水道使用者・道路使用者			
		対象 （直接働きかける）	下水道施設			
		意図 （どんな状態にしたいか）	破損、閉塞、故障、陥没事故がなく、汚水を問題なく流し処理できる状態を保つようにしていきます。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市公共下水道、場外ポンプ場施設の適切な維持管理（不具合箇所の随時補修・修繕）を行うこと。また、毎年発生している不明水を減らす対策として、防水タイプの鉄蓋に交換して行きます。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		施設の適切な維持管理に必要な点検・清掃・補修・修繕	点検・清掃・補修・修繕の業務日数	日	下水道管渠 場外ポンプ施設70箇所/4箇所	50
		マンホール鉄蓋交換	マンホール鉄蓋設置交換	組	80組/年	80
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
下水を問題なく流せた日数		公共下水道施設を正常に使用出来た日数	日		365	

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	39,315,489	52,379,771	56,592,611
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	39,315,489	52,379,771	56,592,611	669,749,319	96,856,000
職 員 数	一般財源	円					
	正規職員	人	0.40	0.40	1.30	1.30	1.30
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.40	0.40	1.30	1.30	1.30
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	点検・清掃・補修・修繕の業務日数	目標	日	40	50	50	50
		実績	日	20	25	30	51
		達成率	%	50.00	50.00	60.00	102.00
	マンホール鉄蓋設置交換	目標	組	60	80	80	80
		実績	組	48	70	79	91
		達成率	%	80.00	87.50	98.75	113.75
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-
	成 果 指 標	公共下水道施設を正常に使用出来た日数	目標	日	365	365	365
実績			日	365	365	365	365
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-		目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
備 考							

事務事業名	下水道施設維持管理事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	05040402
担当部署	都市建設部	水道課	下水道管理係	作成担当者名	五味 健太郎	連絡先	654

期	目標	実績	課題
第1期	・上原管渠清掃・中冲管渠清掃 ・福沢管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応、補修 ・鉄蓋の随時交換	・上原管渠清掃・中冲管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応 4件 ・防水タイプ鉄蓋への交換 4組	仲町雨水渠の止水工事を実施する。
第2期	・仲町雨水渠の止水工事 ・福沢管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応、補修 ・鉄蓋の随時交換	・仲町雨水渠の止水工事 ・福沢管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応 3件 ・防水タイプ鉄蓋への交換 14組	建設課の舗装工事が多いので、鉄蓋交換箇所を絞り実施する。
第3期	・上原管渠清掃・中冲管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応、補修 ・マンホールポンプ施設70箇所の点検・清掃 ・鉄蓋の随時交換	・上原管渠清掃・中冲管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応 4件 ・マンホールポンプ施設70箇所の点検・清掃 ・防水タイプ鉄蓋への交換 46組	マンホール廻り舗装の傷みが出てくると思われるので、舗装の点検・補修を行う。
第4期	・上原管渠清掃・中冲管渠清掃 ・マンホールポンプ施設の緊急対応、補修 ・マンホール廻り舗装損傷個所の補修 ・鉄蓋の随時交換	・上原管渠清掃・中冲・上原管渠清掃の実施 ・マンホールポンプ施設の緊急対応、補修 4件 ・マンホール廻り舗装損傷個所の補修 4件 ・鉄蓋の随時交換 8件	次年度予算対応に向けての準備。

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 建設関連での修繕、交換工事の頻度が多くなることが予想される。	今後の方向性																				
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方向性																				
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡大</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	拡大	②	⑤	⑦		現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①		
成果の方向性	拡大	②	⑤	⑦																	
	現状維持	③	⑥	⑨																	
	縮小	④	⑧	⑩																	
	休廃止	①																			

評価年度	当年度
------	-----

評価の観点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4	A
課題	茅野市公共下水道は供用開始から30年以上経過しており、下水道管渠、中継ポンプ場を含め71箇所のマンホールポンプ場の適切な維持管理（清掃・点検・補修・修理）が求められています。また、道路上のマンホール鉄蓋及び周りの舗装の傷みについては、迅速な交換、補修も求められています。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	公共下水道管渠及び下水道施設の定期的な維持管理を行うことにより、事故や故障等が少なくなります。						公共下水道管渠及び下水道施設の定期的な維持管理を行うことにより、事故や故障等が少なくなります。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	定期的な維持管理を実施するとともに、計画的にマンホール周りの舗装補修を実施する。	成果の方向性	拡大	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡大		
		現状維持	③	⑥	⑨		現状維持		レ	
		縮小	④	⑧	⑩		縮小			
		休廃止	①				休廃止			
		皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性			
	定期的な維持管理を実施するとともに、計画的にマンホール周りの舗装補修を実施する。					定期的な維持管理を実施するとともに、計画的にマンホール周りの舗装補修を実施する。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	諏訪湖流域下水道処理場等維持管理費負担金	事業期間	平成 54 ~ 年度	整理番号	05040106
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人
				連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	02	公共下水道整備の充実
				事務事業	02	接続率向上事業
	予算事業名			会計コード	022	款 項 目 事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	流域下水道を維持管理する長野県に対し、本市の公共下水道から流入する汚水量に応じて流域下水道施設の維持管理費を負担しています。				
	現状と背景 （どうして）	諏訪地域は、各市町村の汚水を諏訪市の豊田処理場で処理する流域下水道を採用しているため、県が処理場等の維持管理をしています。そのため、構成市町村からの汚水の流入量に応じて維持管理費を負担しています。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	下水道区域内の住民			
		対象 （直接働きかける）	公共下水道から排除される汚水			
	意図	諏訪湖に代表される公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現。				
	手段・方法 （どうやって）	構成市町村から排出される汚水は、県が管理する豊田処理場に集約され、効率かつ高度な処理を行っています。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		下水道を利用できる市民	水洗化率	%	水洗化人口/行政区内人口	98
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		下水道有収水量	有収水量	千㎡	下水道使用料を算定するための汚水量	8,653

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	358,058,399	378,012,451	407,624,980	400,221,161	476,064,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円	358,058,399	378,012,451	407,624,980	400,221,161	476,064,000	
一般財源	円						
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	6,377.00	6,753.00	7,282.00	7,149.00	8,504.00	
D （ ）	活動指標	水洗化率	目標	%	98	98	98
			実績	%	95	95	96
		達成率	%	97.24	97.35	97.45	97.96
	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		達成率	%	—	—	—	—
O （ ）	成果指標	有収水量	目標	千㎡	8,653	8,653	8,653
			実績	千㎡	6,815	6,889	7,166
		達成率	%	78.76	79.61	82.82	80.46
	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		達成率	%	—	—	—	—
備考							

事務事業名	諏訪湖流域下水道処理場等維持管理費負担金	事業期間	平成 54 ~	年度	整理番号	05040106	
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人	連絡先	652

期 第1期 第2期 第3期 第4期	目 標		実 績		課 題		
	特になし		特になし		特になし		
	特になし		特になし		特になし		
	特になし		特になし		特になし		
	特になし		特になし		特になし		
事 中 評 価							
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化			今 成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）				現 状 維 持	③	⑥	⑨
				縮 小	④	⑧	⑩
				休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度		当年度												総合評価判定			
評 価 課 題 (C H E C K)	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					A
		1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
	チェック					4					4					4	
	課題	<p>流域下水道の維持管理費負担金は、維持管理に要する経費と有収水量をもとに単価を設定するため、今後の人口減少や節水意識の向上による有収水量の減少に伴う単価の値上げが懸念される。</p>														記号の定義	A : 計画どおり事業を進めることが適当 B : 事業の進め方に改善が必要 C : 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D : 事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	A															
	前年度評価シート整理番号																
改 革 ・ 改 善 策 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後						総合評価				
	今 後 の 方 向 性 (A C T I O N)	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充									
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持										
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小										
		休 廃 止	①				休 廃 止										
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性											
	改革・改善策	<p>諏訪湖流域下水道は、本市の汚水処理を行っていくために不可欠の事業であるため、流域下水道の建設事業については、今後も継続していく必要があります。県が事業主体であるが、多額の負担金を支出していることから、より効率的な事業運営ができるように促進協議会などで意見交換を重ねていく必要があります。</p>						<p>諏訪湖流域下水道は、本市の汚水処理を行っていくために不可欠の事業であるため、流域下水道の建設事業については、今後も継続していく必要があります。県が事業主体であるが、多額の負担金を支出していることから、より効率的な事業運営ができるように促進協議会などで意見交換を重ねていく必要があります。</p>									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	下水道事業経営管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040103
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	松田剛史	連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり								
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実								
				細施策	02	公共下水道整備の充実								
				事務事業	05	—								
	予算事業名				会計コード	022	款	01	項	01	目	01	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	下水道事業を進めるためには財政計画、財源確保、経理など、経営管理からの視点や計画管理が必要になります。そのため の事務を行っています。												
	現状と背景 （どうして）	下水道事業を営むにあたっては、健全な財政を維持するために投資計画、投資する財源の確保、適正な経理など、経営 管理の視点が必要となります。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	下水道使用者										
			対象 （直接働きかける）	下水道事業										
			意図 （どんな状態にしたいか）	健全な事業経営										
	手段・方法 （どうやって）	下水道事業の財政計画、国庫補助金申請・起債借入等による建設財源の確保、経理など下水道事業の経営管理を行います。 （1）財政計画の策定（投資計画、維持管理計画、使用料設定 他） （2）予算・決算の作成 （3）使用料の設定・改定 （4）国庫補助金申請・起債借入等による建設財源の確保 （5）経理事務												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値						
		活動指標	財政計画の策定	経常収支	千円	経常収支を黒字とする（長期前受金を除く）			100					
			財政計画の策定	累積資金過不足額	千円	累積資金過不足額を黒字とする			0					
		財政計画の策定	基準外繰入額	千円	基準外繰入を0とする			0						
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値						
		活動指標	使用料収入による汚水処理費の回収	使用料回収率	%	使用料収入で汚水処理費（維持管理及び資本費を含む）を賄うことができる割合			100					
		決算	経常収支	千円	経常収支を黒字とする			100						

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	1,777,792,479	1,786,443,305	1,748,446,757	1,661,902,808	1,619,417,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	603,084,323	621,443,305	668,446,757	661,902,808	719,417,000	
	一般財源	円	1,174,708,156	1,165,000,000	1,080,000,000	1,000,000,000	900,000,000	
	職員数	人	1.25	1.25	2.20	1.50	1.50	
		正規職員	人					
		嘱託職員	人					
	臨時職員	人						
	合計	人	1.25	1.25	2.20	1.50	1.50	
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	31,663.00	31,912.00	31,233.00	29,687.00	29,130.00	
活 動 指 標 （ D O ）	経常収支	目標	千円	100	100	100	100	100
		実績	千円	177,600	213,553	214,802	190,761	633
		達成率	%	177600.00	213553.00	214802.00	190761.00	633.00
	累積資金過不足額	目標	千円	0	0	0	0	0
		実績	千円	594,219	841,451	831,061	910,543	910,543
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	基準外繰入額	目標	千円	0	0	0	0	0
		実績	千円	0	0	0	0	0
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	成 果 指 標 （ ）	使用料回収率	目標	%	100	100	100	100
実績			%	129	129	126	147	100
達成率		%	129.00	129.00	157.00	147.00	100.00	
経常収支		目標	千円	100	100	100	100	100
	実績	千円	177,600	213,553	214,802	190,761	633	
達成率	%	177,600.00	213,553.00	214,802.00	190,761.00	633.00		
備考								

事務事業名	下水道事業経営管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040103
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	松田剛史	連絡先	652

期	目標	実績	課題
第1期	会計制度が変更になって初年度の決算書の作成	決算書の作成	特になし
第2期	平成26年度決算の分析	今後の収支見込みの作成	特になし
第3期	平成28年度予算要求	予算要求書の提出	特になし
第4期	平成28年度予算書の作成	予算書の作成	特になし

事中評価						
管理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		現状維持	③	⑥	⑨
			縮小	④	⑧	⑩
			休廃止	①		
			皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性			

評価年度	
------	--

評価の観点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4	A
課題	平成19年度から地方公営企業法の全部適用を行いました。平成26年度から会計制度が変更となったため、会計制度に則した経理をすることが課題です。処理原価と供給単価の整合性を図るとともに、使用料回収率を向上させるには料金改定が必要であったため、22年度に使用料改定を行いました。今後も汚水処理原価を低く抑える必要がありますが、当市単独での処理ではなく流域下水道処理のため、県と調整を図りながら使用料原価との比較を行う必要があります。夢科地区の下水道接続は、一般会計(繰入金)及び下水道受益者(下水道使用料)に大きな負担となることから予想されるため、慎重に検討する必要があります。															
課題	前年度総合評価判定					前年度評価シート整理番号					05040102					

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	評価	料金改定を行ったこともあり、単年度及び累積の欠損も生じておらず、基準外繰入金も大きく減少しています。今後も現状の事務事業を継続することが適当だと考えられます。					料金改定を行ったこともあり、単年度及び累積の欠損も生じておらず、基準外繰入金も大きく減少しています。今後も現状の事務事業を継続することが適当だと考えられます。			
評価	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後					
	方向性	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡充			
方向性	現状維持		③	⑥	⑨	現状維持			レ		
	縮小		④	⑧	⑩	縮小					
	休廃止	①				休廃止					
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	県内でもいち早く下水道事業に地方公営企業法の全部適用を行うなど、確実に改革・改善を図っています。夢科地区の下水道接続に向けた検討をする必要があります。					県内でもいち早く下水道事業に地方公営企業法の全部適用を行うなど、確実に改革・改善を図っています。夢科地区の下水道接続に向けた検討をする必要があります。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保科明敏
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

【白樺湖下水道組合】

事務事業名	白樺湖下水道組合施設維持管理業務	事業期間	平成 〇〇 年度	整理番号	05040607
担当部署	白樺湖下水道組合事務局	作成担当者名	田中正貴・宮坂峻	連絡先	657

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 05 第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり		
			施策 04 第4節 上・下水道の整備充実			
			細施策 03 白樺湖特定環境保全公共下水道の諏訪湖流域下水道への接続			
			事務事業 02 維持管理事業			
予 算 事 業 名	下水道終末処理場（白樺湖浄化センター）、場外ポンプ施設および下水道管渠等の下水道施設の維持管理			会計コード ー 款 03 項 01 目 01 事業 01		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	下水道終末処理場（白樺湖浄化センター）、場外ポンプ施設および下水道管渠等の下水道施設の維持管理					
現 状 と 背 景 （どうして）	白樺湖浄化センターは昭和56年3月の共用開始から28年が経過しているが、場外ポンプ施設を含めて適切（低コスト）な維持管理（清掃・点検・補修・修理）を求められている。また、道路上のマンホール鉄蓋及び周りの舗装の傷みについては迅速な交換・補修も求められている。					
目 的 （ P U R P O S E ）	受 益 者 （誰のために）	下水道利用者、道路利用者				
	対 象 （直接働きかける）	下水道施設				
	意 図 （どんな状態にしたいか）	破損、閉塞、故障、陥没事故等がなく、汚水を問題なく流下・処理出来る状態にする。				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	下水道終末処理場（白樺湖浄化センター）、場外ポンプ施設および下水道管渠等の適切な維持管理（不具合箇所の随時補修・修繕）を行うこと。また、毎年発生している不明水を減らす対策として、鉄蓋を既存の雨水が入るタイプのものから、入らないタイプの新しいものへ変えていく。					
N （ E V A L U A T I O N ）	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	活動指標	施設の適切な維持管理に必要な日常点検	日常点検業務日数	日	白樺湖下水道は、平成27年より諏訪湖流域下水への接続が決定していることから、事業拡	365
		新規のマンホール設置	マンホール設置数	枚	白樺湖下水道では、多くの不明水が毎年発生している。	
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	汚水を問題なく流化、処理できた日数	下水道施設を正常に運転出来た日数	日	必要最低限の予算の中で、処理場機器の不具合が一切無い状態での運営は難しいため、機	365	

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	173,919,151	168,141,664	162,717,804	169,303,723	60,395,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	96,889,151	97,128,664	96,987,804	111,147,723	52,219,000		
一般財源	円	77,030,000	71,013,000	65,730,000	58,156,000	8,176,000		
職員数	人	0.80	0.80	1.30	0.90	0.90		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人	0.80	0.80	1.30	0.90	0.90		
対 象 （ 者 ） 数								
延 利 用 （ 者 ） 数 (b)								
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受 益 者 負 担 額	円							
市民一人当たりのコスト	円	3,098.00	3,004.00	2,907.00	3,024.00	1,200.00		
D （ I N D I C E S ）	活動指標	日常点検業務日数	目標	日	365	365	365	365
			実績	日	365	365	365	365
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	マンホール設置数	目標	枚	5	5	5	5	
実績		枚	5	5	8	5		
達成率	%	100.00	100.00	160.00	100.00	100.00		
O （ O U T C O M E S ）	成果指標	下水道施設を正常に運転出来た日数	目標	日	365	365	365	365
			実績	日	365	365	365	365
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備 考								

事務事業名	白樺湖下水道組合施設維持管理業務	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	05040607
担当部署	白樺湖下水道組合事務局 白樺湖下水道組合事務局	作成担当者名	田中正貴・宮坂峻	連絡先	657

期	目標	実績	課題
第1期	第1期は大型連休があり、また梅雨入りもすると考えられるため、設備の負荷が高まる時期である。施設の老朽化が進んでいるため、水質基準値を超えない範囲での運用に努める。	大型連休を迎えたが、水質基準値を超えない範囲での運用を行えた。	施設の老朽化、設備への負荷は進んでいるため、最低限、かつ有効な修繕を行いながら運用を行う。
第2期	年間で最も負荷の高まる夏期のシーズンを迎えるため、水質に影響が出ないよう、早めの対策を行っていく。	天候の影響もあり夏期のシーズン中は流入量も多く設備にも負荷があったが、水質、透視度等良好な状態で処理が行えた。	処理場の心臓部である回転円盤に異音等の不具合が生じているが、改築工事は行わず、設備への負荷がかからない方法で浄化センター閉鎖まで持続させる。
第3期	第3期は比較的安定した流入量ではあるが、施設の老朽化が進んでいるため、引き続き水質基準値を超えない範囲での運用に努める。	宿泊施設からの重油流出事故により汚水に混入し、浄化センターの処理能力が低下、放流水の水質基準を下回る恐れがあったので通常使わない調整池へ貯水させた。	今回のような突発的な事故に対応できるよう、監視の強化を図る。また、来年度公共下水道への接続に伴う処理場閉鎖に向けた準備を行う。
第4期	4月からの公共下水道接続に伴う、閉鎖に向けた清掃業務のための仮設配管工事の実施を進める。	仮設配管工事の実施及び完了。	閉鎖に向けた清掃業務は、公共下水道切替後の平成28年4月1日以降のため、閉鎖業務委託の準備。

事中評価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 公共下水道へ接続までの期間は、老朽化の著しい箇所は負荷のかからない 運転で稼働させなければならない。	今後の方向性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 浄化センターの維持管理業務の縮小と、閉鎖に向けた処理委託業務の拡充 を行う。	方向性																
	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
拡充	②	⑤	⑦														
現状維持	③	⑥	⑨														
縮小	④	⑧	⑩														
休廃止	①																

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																

課題	白樺湖浄化センター・場外ポンプ施設について、昭和56年3月から共用を開始しており、現在老朽化が進んでいる。平成28年4月に諏訪湖流域下水道へ接続することが決定しているが、これに向けて維持管理を行っていくことになる。そのために、白樺湖浄化センターについては大規模な更新工事を行わず、現存する施設の必要最低限度の補修・修繕にとどめた維持管理に努める必要がある。また、場外ポンプ場については、諏訪湖流域下水道への接続後も共用を継続するため、更新工事も含めた適切な維持管理に努める必要があります。流域下水道接続後のポンプ場の維持管理について検討する必要があります。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
	前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	諏訪湖流域下水道接続までの間、現存する施設の必要最低限の補修・修繕にとどめた維持管理を行うことが要です。						諏訪湖流域下水道接続までの間、現存する施設の必要最低限の補修・修繕にとどめた維持管理を行うことが要です。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	拡充			
	現状維持		③	⑥	⑨	現状維持		レ		
	縮小		④	⑧	⑩	縮小				
	休廃止	①				休廃止				
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				

改革・改善策	白樺湖浄化センターの運転管理委託は廃止となるが、その他の施設の維持管理は継続していく。	白樺湖浄化センターの運転管理委託は廃止となるが、その他の施設の維持管理は継続していく。
--------	---	---

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	白樺湖下水道組合事務局次長	保科明敏
---------	------------	---------	---------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

下水道事業会計【茅野市】

事務事業名	白樺湖浄化センター跡有効利用事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	05040108
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人
				連絡先	652

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	05	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり
				施策	04	第4節 上・下水道の整備充実
				細施策	03	白樺湖特定環境保全公共下水道の諏訪湖流域下水道への接続
				事務事業	03	浄化センター跡地有効利用事業
	予算事業名			会計コード	022	款 項 目 事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	白樺湖特定環境保全公共下水道の白樺湖浄化センターを、諏訪湖流域下水道に接続した後、現在の浄化センター跡又は跡地をどう有効活用できるかの計画及び施工を行う事業です。				
	現状と背景 （どうして）	白樺湖特定環境保全公共下水道の諏訪湖流域下水道への接続に向け、事業が進んでいますが、接続後に白樺湖浄化センターは浄化センターとしての役目を終了することとなります。この「旧」浄化センター跡又は跡地をどう有効活用できるかの計画及び施工を行う必要があるため事業を行うものです。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	下水道区域計画内の市民（白樺湖下水道組合区域内を含む）		
		対象	対象 （直接働きかける）	下水道事業		
		意図	平成28年度以降、白樺湖浄化センターの施設を国の規制等がない自由な立場で跡地について検討する。			
	手段・方法 （どうやって）	国庫補助金等を返還するとともに、取り壊しを含めた跡地利用を検討する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		国庫補助金返還	進捗率	%	平成28年度国庫補助金返還	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		国の関与がない跡地利用	進捗率	%	国庫補助金返還による法律の縛りの排除	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	3,927,000				216,167,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円	3,927,000				78,249,000	
一般財源	円					137,918,000	
職員数	人						
正規職員	人	1.00	0.30	0.55	0.30		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	1.00	0.30	0.55	0.30		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	70.00	—	—	—	3,862.00	
D （ ）	活動指標	進捗率	目標 %	実績 %	達成率 %		
			10	10	100.00		
		20	20	100.00			
		50	40	80.00			
	90	90	100.00				
	100	100	100.00				
O （ ）	成果指標	進捗率	目標 %	実績 %	達成率 %		
			10	10	100.00		
		20	20	100.00			
		50	40	80.00			
	100	90	90.00				
	100	100	100.00				
備考	平成28年度に国庫補助金を返還予定のため、予算要求までには額を確定できるように県を通じて関東地方整備局と協議をする。						

事務事業名	白樺湖浄化センター跡有効利用事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05040108
担当部署	都市建設部	水道課	庶務経営係	作成担当者名	平 沢 幸 人	連絡先	652

期	目 標	実 績	課 題
第1期	国庫補助金の返還額について資料を作成し、県と協議をする。	県と協議をし、関東地方整備局との打合せは10月までには進めるとのことであった。	県を通じて関東地方整備局と協議をしているため、市の方針が変更になった場合に、すぐに対応ができない。
第2期	県と国が打合せを早期に進めるようお願いする。	特に変更なし	特になし
第3期	県と国が打合せを早期に進めるようお願いする。	県と打合せを行った。	県を通じての協議のため、思うように進まない。
第4期	国庫補助金の返還額について概算額を示すように県をお願いをする。	関東地方整備局の職員と打合せをする。返還額が土地に係る補助金相当額となる。	特になし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	A
	前年度評価シート整理番号	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
当初考えた国庫補助金返還額よりも減額することができてよかった。来年度、本申請をして補助金の返還まで終わらせることとしたい。浄化センターの跡地利用については、立地的なこともあり利用したと申し出る者もないため、更地にすることも含めて検討する必要があります。	当初考えた国庫補助金返還額よりも減額することができてよかった。来年度、本申請をして補助金の返還まで終わらせることとしたい。浄化センターの跡地利用については、立地的なこともあり利用したと申し出る者もないため、更地にすることも含めて検討する必要があります。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr><td>拡 充</td><td>②</td><td>⑤</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>現 状 維 持</td><td>③</td><td>⑥</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>縮 小</td><td>④</td><td>⑧</td><td>⑩</td></tr> <tr><td>休 廃 止</td><td>①</td><td></td><td></td></tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①			<table border="1"> <tr><td>拡 充</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現 状 維 持</td><td>レ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮 小</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>休 廃 止</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	拡 充				現 状 維 持	レ			縮 小				休 廃 止			
拡 充	②	⑤	⑦																															
現 状 維 持	③	⑥	⑨																															
縮 小	④	⑧	⑩																															
休 廃 止	①																																	
拡 充																																		
現 状 維 持	レ																																	
縮 小																																		
休 廃 止																																		
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																		
改革・改善策	国庫補助金の返還は返還額をなるべく少なくすること、跡地利用は建物を含めた再利用できる方法を検討する必要があります。	国庫補助金の返還は返還額をなるべく少なくすること、跡地利用は建物を含めた再利用できる方法を検討する必要があります。																																

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	水道課長	保 科 明 敏
---------	------------	---------	------	---------